埼玉県熊谷市の暑さ対策の取組

2005-2022



目　次

1　はじめに　1

2　暑さ対策を重点施策とした経緯　2

3　暑さ対策を実施したことによる成果　3

4　事業紹介　5

(1) まちなかの暑さ対策 …… 6

① 「うえ」日射の低減 …… 6

② 「した」地表面等の高温化抑制・冷却 …… 8

③ 「よこ」壁面等の高温化抑制・冷却 …… 14

④ 「まんなか」空気・からだの冷却 …… 15

⑤ ①～④の組み合わせ …… 17

(2) 室内の暑さ対策 …… 19

(3) 地球温暖化の抑制 …… 22

(4) 熱中症の予防 …… 27

(5) 暑さ対策を活用した地域活性 …… 46

(6) 大学との連携 …… 52

(7) 民間企業等と連携した取組 …… 54

5　おわりに　65

6　参考資料　66

①「あついぞ！熊谷」関連事業の実施状況 …… 66

②熊谷市の年度別猛暑日日数 …… 67

③熱中症警戒アラート発表 …… 67

④時系列索引 …… 68

⑤「あっぱれ！熊谷流」事業　決算 …… 73

⑥暑さ対策プロジェクトチーム提案事業 決算 …… 74

１　はじめに

埼玉県熊谷市は、人口約 19 万人、東京都心から 50～70ｋｍ圏に位置し、ほぼ平坦で、荒川、利根川の水源に恵まれた肥沃な大地と豊かな自然環境を有しています。 また、年間を通して晴れの日が多く、夏季の気温が高いことでも知られており、H19(2007)年 8 月 16 日に、当時の国内最高気温 40.9℃、H30(2018)年 7 月 23 日には、41.1℃を記録し、国内最高気温を更新しました。

熊谷市がなぜ暑いのか、熊谷地方気象台の見解によると、その理由は２つ考えられています。一つが、都心のヒートアイランド現象により温められた空気が、南寄りの風に乗って運ばれてくるため。もう一つは、上空を吹いている北西風が山を越えて吹き降ろしてくる際に圧縮されて温度が上がるフェーン現象が発生し、温度の上がった空気が流れ込むためです。つまり、フェーン現象と、東京都心から流れるヒートアイランドの空気が重なる「交差点」が、この熊谷だといわれているのです。



※熊谷地方気象台の見解による。

2　暑さ対策を重点施策とした経緯

熊谷市には気象台があるため、以前から天気予報ではそれなりの知名度がありましたが、全国的な猛暑であった H16(2004)年に、これまで以上に注目されるようになり、熊谷の暑さが大きく発信されました。これをヒントに、暑さを逆手に取り、貴重な地域資源としてプラスに捉え、市民の気持ちの熱さ、人情の篤さなどの「あつさ」をキーワードとして、楽しみながら積極的にまちづくりに生かそうと「あついぞ！熊谷」ひとづくり支援事業を開始しました。これが「あついぞ！熊谷」の誕生です。



この事業は、市民の方々が行う、「商店街 40℃セール」や「最高気温あてクイズ」、「打ち水大作戦」などの活動を、市が広報や補助金という形で応援するという市民と行政の協働事業であるとともに、地域と切っても切り離せない自然風土を資源と捉え、そこに住む市民の元気と結びつけることで、地域の展開の可能性を探るという試みでもありました。



暑いという地域の特色を生かしたこの事業は、市民のある種の連帯感醸成につながり、個人・団体・企業が「あついぞ！熊谷」の冠をつけて行うイベントを市がポスター等で PR する「あついぞ！熊谷」冠エントリー事業には多くの応募が寄せられました。市民主体のイベントが増加したことは、地域活性化のみならず、市民活動の推進にも大きな役割を果たしました。この暑さを逆手に取ったまちづくりは、他自治体に例がなかったため、マスコミの注目度も高く「熊谷」の知名度向上にも大きく貢献しました。

また、H19(2007)年に当時の日本最高気温を計測したことを契機に、「熱中症から市民の健康を守ること」を緊急課題に据え、この課題解決を図るとともに、「暑さ日本一」「快晴日数日本一」という特徴的な気象条件を生かした地域振興策にもつながるようなアイデアを全職員から募ったところ、400 以上のアイディアが寄せられ、初年度はその中から 24 個を事業化し、「あつさ はればれ 熊谷流プロジェクト」（あっぱれ熊谷流）を立ち上げました。「あっぱれ熊谷流」は、H20(2008)年度から H29(2017)年度を計画期間とする第 1 次総合振興計画のリーディングプロジェクトに位置づけられました。さらに、3 年ぶりの猛暑となった H22(2010)年からは、暑さ対策、熱中症対策の調査・研究および事業の企画・立案を行う若手職員を中心とした暑さ対策プロジェクトチームを結成（令和 4 （2024）廃止）し、市民の生命、健康を守るための体制を強化し、熊谷オリジナルの暑さ対策を展開しました。 そして、H30(2018)年度から R4(2022)年度を計画期間とする第 2 次総合振興前期基本計画においても「暑さ対策日本一の推進」をリーディングプロジェクトに掲げ、引き続き熱中症対策等の暑さ対策及び地球温暖化対策を

市民及び事業者等と連携しながら推進し、市民の健康第一の安心安全な日常生活の充実を図っています。

3　暑さ対策を実施したことによる成果

熱中症救急搬送者数の推移については表 1 及び図 1 のとおりとなっています。これについては、年ごとに暑さの傾向が異なるため、一概に比較できませんが、図 2 に示したとおり、救急搬送者の初診時における傷病程度については、埼玉県や全国の数値と比較して、中等症以上での搬送者の割合が低くなっています。このことは、市が H20(2008)年から実施してきた様々な暑さ対策や熱中症予防の啓発により、熱中症が死に至る危険もあるということが市民に周知され、早めに対処している証ではないかと考えています。

また、「あついぞ！熊谷」に続き、暑さ対策もマスコミに数多く取り上げられています。これまでに、NHK 等で「熊谷で学ぶ熱中症対策」の特集が組まれたのを始め、毎年多くの新聞記事やテレビ番組に紹介されているほか、書籍や雑誌での紹介、講演依頼、視察の受け入れなど、広く市のイメージアップや健康対策、地域活性化などにも貢献していると言えます。

さらに、環境省が推進する「熱中症予防声かけプロジェクト」主催の「ひと涼みアワード」においては、初回の H24(2012)年から 10 年連続で、日本一であるトップランナー賞等の最高賞を受賞しています。これらが評価され、R2(2020)年にはアワード初の殿堂入りが決定しました。

その他、知名度の上昇と「暑さ対策日本一」の称号により、民間企業等からの注目度も上がってきたため、H28(2016)年からは、民間企業等と連携した啓発活動を数多く行っています。企業等と連携することで、企業の特性や強み、発信力を生かして、様々な視点から熱中症予防を呼びかけることができるため、積極的に取り組んでいます。

表１：熊谷市熱中症救急搬送人員件数表

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R２	R3	R4
人数	143	106	128	99	128	69	100	202	138	122	88	172

図１：熊谷市熱中症救急搬送人員　傷病別人数

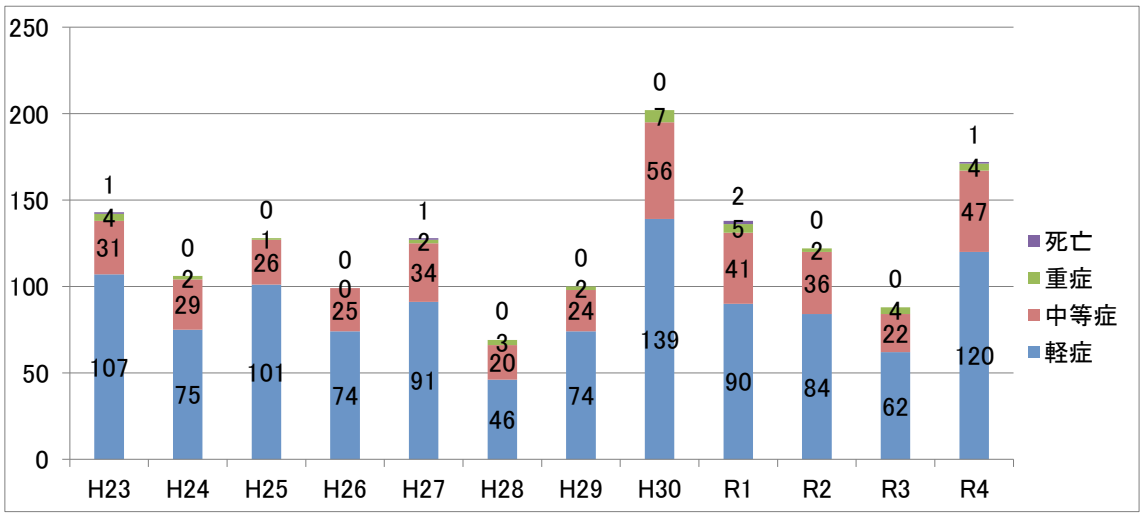
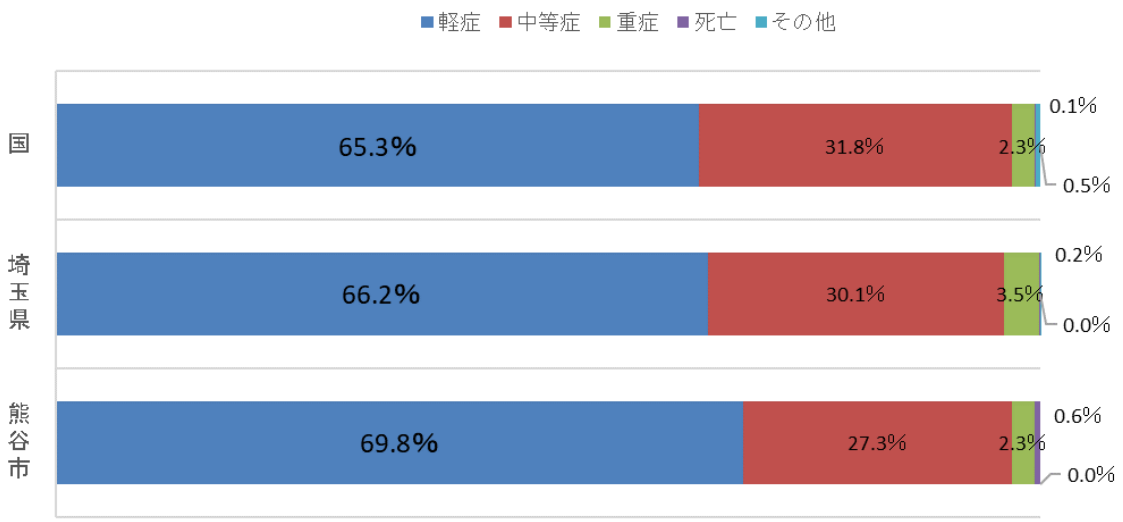


図２：熱中症救急搬送者の初診時における傷病程度（R４/2022）



○ひと涼みアワード受賞歴　※環境省が推進する「熱中症予防声かけプロジェクト」主催



H24/2012　★トップランナー賞
H25/2013　★行政トップランナー特別賞
H26/2014　★トップランナー賞
H27/2015　最優秀啓発賞(行政部門)
H28/2016　★トップランナー賞
H29/2017　★トップランナー賞
H30/2018　官民連携部門　最優秀賞
R 1/2019　★トップランナー賞
R 2/2020　熱中症ケア部門　最優秀賞　★殿堂入りが決定
R３/2021　熱中症ケア部門　最優秀賞
R４/2022　オンライン啓発部門　最優秀賞
　　熊谷市立荒川中学校　行政部門トップランナー賞

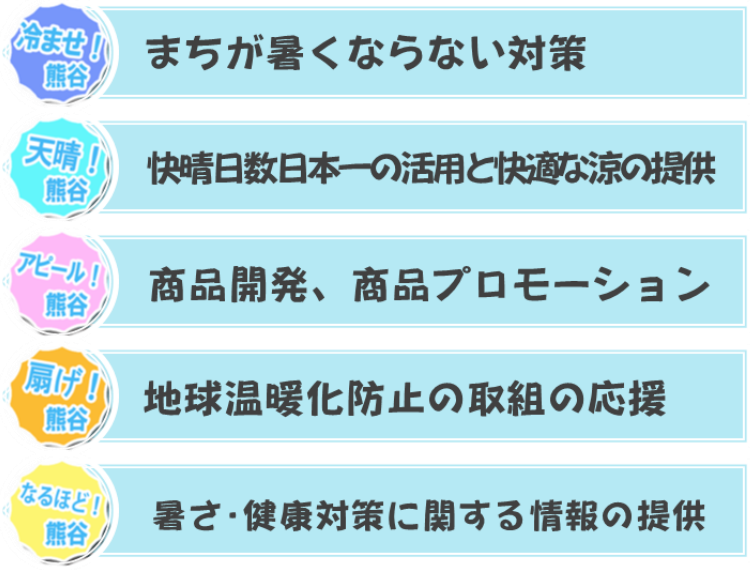
※H27 から受賞団体の相互投票によりトップランナー賞を決定、H30 からは表彰の対象が、団体ではなく、団体が行う個別の取組に変更となった。
※R2 からは、殿堂入りのためトップランナー賞の選考対象から外れた。

４　事業紹介

事業の右上についているマークについて

①「あつさ　はればれ　熊谷流（あっぱれ！熊谷流）」実施事業

H20(2008)年からH29(2017)年を計画期間とする第１次総合振興計画のリーディングプロジェクトとして、下の５本柱で実施していたものです。計画期間満了後も継続して取り組んでいる事業もあります。



②暑さ対策プロジェクトチーム　提案事業

PT

H22 年 10 月に設置された暑さ対策プロジェクトチームは、暑さから市民を守ること、暑さを活用した地域の活性化、情報発信を図るための新たな方策を調査、研究し、事業提案することを目的に R3 年度まで活動していました（以後、メンバーの新たな募集は行っていません。）。メンバーは、環境や緑化、健康部門に限らず、福祉、産業振興、建設、教育委員会など、様々な分野の職員で構成されており、各所属との兼務としていました。

暑さ対策プロジェクトの提案事業は、市長及び副市長へのプレゼンテーションを経て採択の可否が決定し、採択されたものについては、事業実施課へ引継ぎ、実現してきました。



R2.11～の任期のメンバー

（１）まちなかの暑さ対策

環境省発行の「まちなかの暑さ対策ガイドライン改訂版」（H30 年３月）によると、まちなかの暑さ対策は、大まかに①「うえ」日射の低減、②「した」地表面等の高温化抑制・冷却、③「よこ」壁面等の高温化抑制・冷却、④「まんなか」空気・からだの冷却に分類できること、①～④の組み合わせ(⑤)によって、より効果的な暑さ対策となることが示されています。

①「うえ」 日射の低減

藤のパラソル事業 PT





実施年度
H26
目的
・夏の厳しい日差しを軽減し、快適に街歩きができるようにすること。
事業概要
気温が上昇しやすい熊谷駅前通りの歩道３箇所に、日陰で信号待ちができるように藤棚と藤の苗木を設置。藤がつくり出す夏季の緑陰と藤花による初夏の美観により熊谷の夏を涼しくする。
担当課
道路課

えんむすび日傘事業 PT



実施年度
H27～
目的
・熱中症にかからずに、快適に参拝や街歩きをできるようにすること。 ・商店街の活性化を図ること。



事業概要
日本三大聖天の一つとして知られる、妻沼聖天山の国宝「歓喜院聖天堂」周辺の商店街の商店等２１か所に、熊谷染の図柄をあしらった日傘や番傘約 250 本を設置し、訪れた観光客に無料で貸し出す。R1 からは、２人で使える大きめの「相合傘」も登場。
担当課
スポーツ観光課

熊谷さくら運動公園日陰創出事業

実施年度
H29
目的
・スポーツを楽しむ方や観戦する方の熱中症予防を図ること。
事業概要
熊谷さくら運動公園のテニスコート C コート南側 6 箇所に、風通しが良く、熱がこもらない緑陰をイメージした日除けを設置する。
担当課
公園緑地課





②「した」 地表面等の高温化抑制・冷却

植生インターロッキングブロック・保水性舗装駐車場の整備
実施年度
H19
目的
・ヒートアイランド現象の緩和を図ること。
事業概要
公用車の駐車場に植生インターロッキングブロックを採用して蓄熱量を減らすとともに、保水性舗装を施し、気化熱による冷却を促し、路面からの反射熱を削減している。
担当課
庶務課



遮熱性舗装事業
実施年度
H20
目的
・ヒートアイランド現象の緩和を図ること。
事業概要
市役所本庁舎の正面口と西側駐車場の歩車道等の既設舗装に遮熱性塗料を塗ることで、路面温度の上昇を抑制するとともに路面内部の蓄熱量を減少させ、夜間の放射熱を軽減する。 路面温度の最大温度差が 12.4 度のデータを得た。
担当課
維持課

市民活動事業（はじめの一歩助成金）

実施年度

H20

目的

・市内の緑化を進め、暑さを和らげること。
・市民活動を活発化させ、熊谷市を魅力と活力あるまちにしていくこと。

事業概要

市内における市民活動団体の設立と新たな事業の実施に対して助成金を交付する「はじめの一歩助成金」制度において、「暑い熊谷の夏を快適に過ごすための緑化運動」にチャレンジする市民活動団体を募集し、認定事業に対し助成金を交付

●認定事業①：ガーデンフェスタくまがや（「特定非営利活動法人埼玉ガーデン・ガーデニング」実施）
取組内容：熊谷農業高校と協力してコミュニティひろばに設置する「モデルガーデン」、個人の庭を一定期間一般の人に公開する「オープンガーデン」の開催、「園芸福祉セミナー」の開催等、植物を通した活動を通じて緑化に努める。



熊谷農業高校設置のモデルガーデン



「オープンガーデン」個人の素敵な庭を公開

●認定事業②：星川に緑のニャオざね出没??　（「ロハスナン倶楽部」実施）
取組内容：「中心市街地に楽しい緑化を！」と題し、星川広場にニャオざねのトピアリーを設置し、市民に緑を親しんでもらう。また、トピアリー、ハンギングバスケット、緑のカーテン作りの講座を開催するとともに、受講者の作品も星川広場に展示



ニャオざねトピアリー



ハンギングバスケット講座

担当課

市民活動推進課

花緑いっぱい事業

実施年度

H22、H23（H23 は小・中学校みどりのカーテン部分については、別事業で実施）

※下記のとおり行っていたものを H22 に統合して実施

・H20 市民活動事業(花いっぱい・打水子どもの見守り大作戦)⇒ H21 校区花いっぱい事業

・H20、H21　保育所花いっぱい事業

・H20、H21　学校花緑いっぱい事業

・H21　緑のカーテン推進事業





目的

・公共施設、公園、通学路等の緑化、花いっぱい活動を進め、暑さを和らげること。

事業概要

校区連絡会及び小・中学校、市立幼稚園・保育所による花緑いっぱい運動として、花の苗やプランター等を配布

小・中学校においては、学校花緑いっぱい事業コンクールを実施（H23 から小・中学校緑のカーテン整備事業へ移行）

担当課

公園緑地課、市民活動推進課、保育課、学校教育課

保育所ひんやりペタペタ事業

実施年度

H25



目的

・夏場でも快適で移動しやすい保育環境を整備すること。

事業概要

保育所において、子供たちが歩く南側に面したテラスなどのコンクリート部分に熱交換塗料（※）を塗布し、夏場においても快適で移動しやすい保育スペースを創出。籠原保育所での実証実験後、荒川・銀座・石原・玉井・中条・箱田・市田・上須戸・江南の 10 か所の保育所で実施。

塗布した部分としていない部分の表面温度の差　は、18.1℃であった（塗布時）。

※夏場は余分な蓄熱や放射熱が発生しない一方で、逆に冬場は一定温度での蓄熱をするという特徴を持っている塗料。吸収した熱エネルギーを塗料の分子の働きで消耗する。

担当課

保育課

遮熱性舗装等のネットワーク化（国・県・市）

実施年度

R1 完了

目的

・ヒートアイランド現象の緩和を図ること。

事業概要

国道 17 号の鎌倉町～筑波 1 丁目の約 900mの範囲の車道と歩道、筑波歩道橋の通路及び階段部、駅西通り、鎌倉町通りに、舗装の温度上昇を抑制する機能がある遮熱性舗装を施工、また、熊谷駅正面口駅前広場、ラグビーロードや市役所通りの歩道部分に遮熱性ブロック、弥生町通りに保水性ブロックを使用。

※国・県・市が連携し、一定のエリアを整備している例は全国的に珍しい。

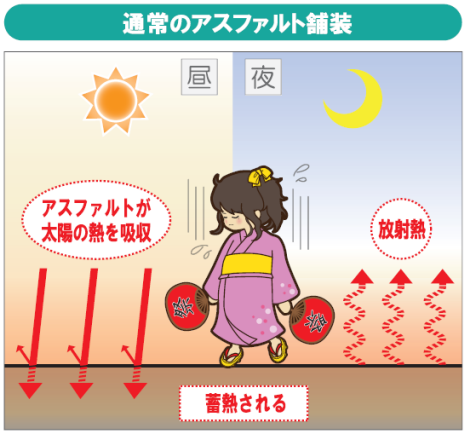
担当課

市担当部分は、道路課

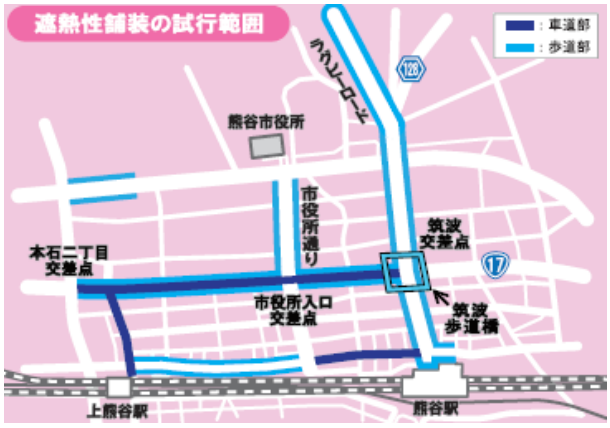


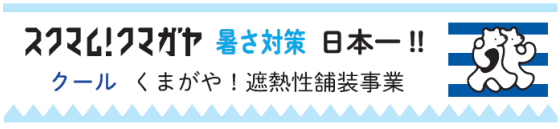












遮熱性舗装による効果 PR 看板タイトル

籠原駅北口駅前広場の整備
実施年度
R１完成
目的
・籠原駅を利用する市民や本市を訪れる方に快適な涼しさを提供すること。
事業概要
歩道には、太陽の光を反射する機能を持つ遮熱透水性平板を使用したほか、広場内の一部に熱交換塗料を塗布した。
担当課
土地区画整理事務所



遊具で遊べるんるん事業
実施年度
R2、R4
目的
・遊具に「熱交換塗料」を使用し、その遊具で子どもたちが安全に、そして楽しく遊ぶことで、暑さに対して強い体づくりができる環境を整備すること。
事業概要
市内公園の１つである新堀第３，４公園にある遊具に「熱交換塗料」の塗装を実施。
担当課
公園緑地課





③「よこ」 壁面等の高温化抑制・冷却

壁面緑化事業
実施年度
H20～（H22～壁面緑化推進事業として実施）
目的
・建物への直射日光を避け、植物の蒸散作用により、庁舎内の温度上昇を抑制すること。 ・来庁者に地球温暖化防止・省エネルギー対策の取組をＰＲし、広く壁面緑化の普及を図ること。
事業概要
H20 から、妻沼・江南庁舎や公民館などで、施設の壁にネットを張り、朝顔やゴーヤなどを花壇やプランターに植えるなどして、壁面緑化を実施している。 H21 から、みどりのカーテン・コンテストを実施している（H30 から涼くまグランプリにて表彰）。 H23 から H30 まで、一般家庭や事業所における壁面緑化の普及を促進するために、「みどりのカーテン補助金」を交付した。
担当課
施設所管課等、H22~環境政策課

小学校/中学校　緑のカーテン推進事業
実施年度
H23～（花緑いっぱい事業から一部移行）
目的
・建物への直射日光を避け、植物の蒸散作用により、教室内の温度上昇を抑制すること。 ・児童・生徒の環境問題への関心を高めること。
事業概要
小中学校が花の苗やプランター等を用意し、ベランダ型や壁面型の緑のカーテンを作り、「みどりのカーテンコンテスト」(H30~涼くまグランプリと併せて表彰)を実施
担当課
教育総務課



R4　奈良小学校



R4 大麻生中学校

④ 「まんなか」 空気・からだの冷却

熊谷駅前広場冷却ミスト事業
実施年度
H20～（R1 正面口を改修。P.18 参照）
目的
・熊谷駅を利用する市民や本市を訪れる方に快適な涼しさを提供すること。
事業概要
熊谷駅広場（正面口・南口・東口）に省エネルギーに配慮した冷却ミストを設置し、クールビズ期間にあわせて 5 月～10 月(H26 までは、6 月～9 月)の 7 時～20 時に、①気温 28℃ 以上、②湿度 75%未満、③風速 3m 未満、④降雨なしの気象条件がそろった時に自動運転を行う。 噴霧エリアの温度を 2～3 ℃下げる効果がある。たいへん細かい粒子で肌に触れても濡れた感覚がない。 設置箇所が駅広場であり、テレビ局の気象に関する取材に取り上げられることが多く、熊谷市の暑さ対策日本一の取組の象徴として全国的にも有名である。
担当課
環境政策課

※H20 年に熊谷市で開催された高校総合体育大会においても、会場内に仮設冷却ミストを設置して、来場者に快適な涼しさを提供するとともに、環境に優しい最新技術の普及を図った（高校総体冷却ミスト事業）。また、H20、21 年のうちわ祭においても、同様の目的で、コミュニティひろば内に設置した（うちわ祭冷却ミスト事業）。





熱中症予防グッズ配布事業

実施年度

H23～



目的

・熱中症弱者といわれる子供や高齢者が熱中症にかかるのを予防すること。

事業概要

市内の小学 1 年生、転入生及び 75 歳の方を対象に、水に濡らして体に巻くと涼しく感じられる素材で作製した「クールスカーフ」を配布。希望者には、市観光協会で販売。

担当課

企画課、H30～政策調査課

ミストシャワー購入支援事業

実施年度

H28



目的

・熱中症にかからずに、安全に地域行事ができるようにすること。

事業概要

屋外での地域行事を主催する団体に、ホースを蛇口につなぐだけでミストを発生することができる簡易型ミスト発生装置の購入費用の半額（上限 1 万円）を補助する。

担当課

市民活動推進課

籠原駅前広場冷却ミスト事業

実施年度

H30（稼働は R1～）



目的

・籠原駅を利用する市民や本市を訪れる方に快適な涼しさを提供すること。

事業概要

籠原駅北口・南口に省エネルギーに配慮した冷却ミストを設置し、クールビズ期間にあわせて 5 月～10 月の 7 時～20 時に、①気温 28℃以上、②湿度 75%未満、③風速 3m 未満、④降雨なしの気象条件がそろった時に自動運転を行う。

※籠原駅北口駅前広場整備事業と併せて施工。

担当課

環境政策課

すくすくはぐくまひんやりグッズ事業
実施年度
R3～
目的
・体温調節が未発達の乳幼児に対する熱中症対策を保護者に対し予防啓発するため。
事業概要
体温調節が未発達の乳幼児（1 歳児と 2 歳児）の保護者に対し、外出時などで使用できる本市オリジナルの「保冷シート」と「啓発チラシ」を配布し、子どもの熱中症を予防する。
担当課
こども課



⑤ 組み合わせ

「うえ」日射の低減＋「まんなか」からだの冷却

通学で日傘をさそう事業
実施年度
R4～
目的
登下校時等に日傘を活用することにより、熱中症対策及び新型コロナウイルス感染症対策を行う。
事業概要
市小学校児童に対し、UV カット・遮光率 99%以上の熊谷市オリジナルの晴雨兼用傘を配布。
担当課
学校教育課

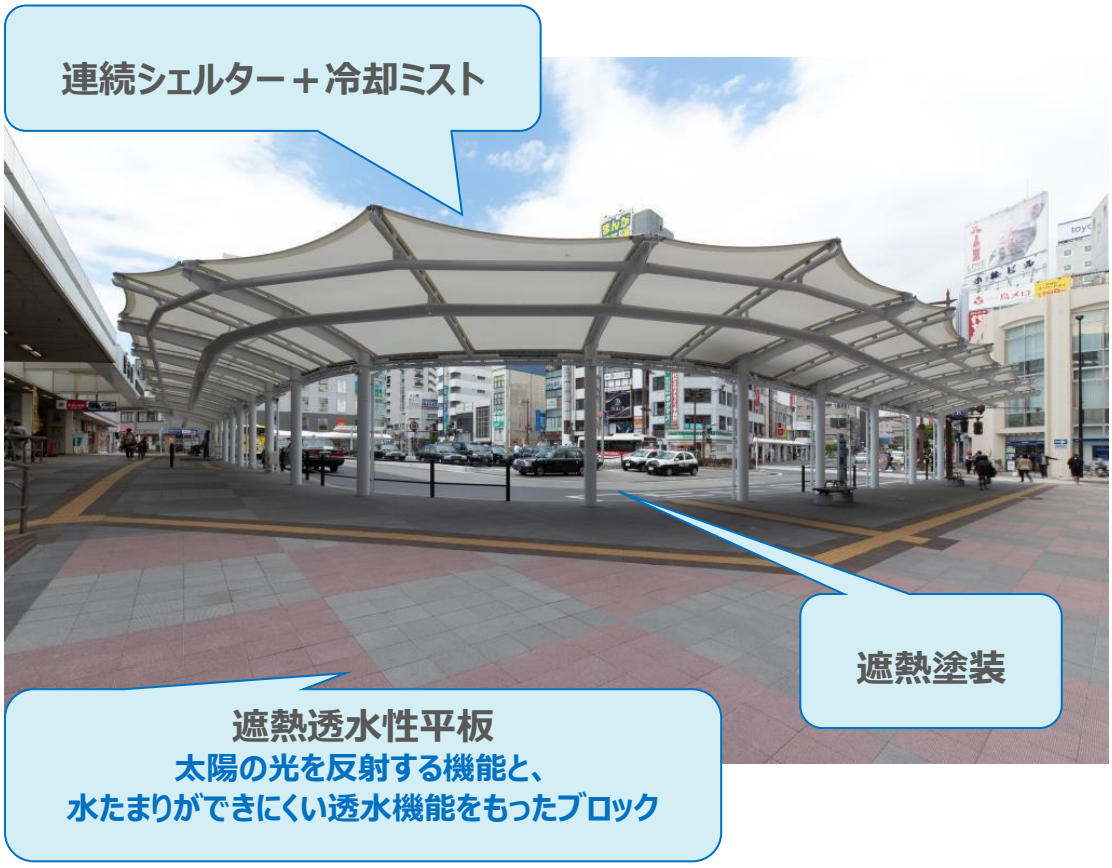


ちびっこ元気事業
実施年度
H27～
目的
・熱中症にかからずに、安全に外遊びができるようにすること。 ・夏の外出時に帽子をかぶることを習慣化すること。
事業概要
市内在住の 3 歳児等に、熱中症予防に効果のある冷却機能を備えた「ニャオざねクールキャップ」を配布する。帽子全体に UV カット加工を施し、首の部分についた高吸水繊維を水で濡らして使用することで、体感マイナス 10℃の冷却効果が 3 時間程度持続する。
担当課
こども課



「うえ」日射の低減+「した」地表面冷却+「まんなか」空気の冷却

熊谷駅正面口　駅前広場の改修
実施年度
R１完成
目的
・熊谷駅を利用する市民や本市を訪れる方に快適な涼しさを提供すること。
事業概要
新たに設置した連続シェルターに冷却ミストをつけ、7 時～20 時に、①気温 28°C 以上、②湿度 75%未満、③風速 3m 未満、④降雨なしの気象条件がそろった時に自動運転を行う。 歩道には、太陽の光を反射する機能を持つ遮熱透水性平板を使用したほか、タクシープールにも遮熱性舗装を施した。 ※熊谷駅正面口駅前広場改修工事と併せて施工。
担当課
道路課



（２）室内の暑さ対策

保育所遮熱塗装事業



実施年度

H20

目的

・保育所の室内の温度上昇を抑制し、子どもたちの保育環境の向上を図ること。

・冷房負荷を下げ、温暖化防止を図ること。

事業概要

銀座保育所の屋根を、赤外線を遮熱し、昇温抑制効果のある塗料を塗布した鋼板材に取替。太陽光の約 40%である赤外線がカットされることで室内の温度上昇が抑制されるとともに、冷房負荷が下がる。これにより、同様の保育所と比較して、1℃～3℃室内の温度が低下した。

担当課

保育課

熱線反射・断熱フィルム施工事業



実施年度

H22

目的

・庁舎の室内の温度上昇を抑制すること。

・冷房負荷を下げ、温暖化防止を図ること。

事業概要

市役所本庁舎及び江南庁舎の南側と西側などの窓ガラスに、透明性の高い熱線反射・断熱フィルムを貼付。このフィルムには、日射熱を遮断するとともに、遠赤外線を反射する効果があるため、夏は涼しく、冬は暖かい空気を外に逃がさないという特徴がある。また、冷暖房効率も高まるので、燃料使用量を削減し、二酸化炭素の排出抑制につながるほか、災害時等の窓ガラスの飛散防止にもなる。

効果測定の結果、平均で 3.6℃、最大で 9 度の温度差を確認した。

担当課

庶務課

保育所等へ外付け日よけ設置
実施年度
H29
目的
・熱中症弱者である子供が室内で熱中症にかかるのを予防すること。 ・室内でも熱中症にかかる危険性があることを呼びかけること。
事業概要
室内熱中症の予防を呼びかける活動「クール de ピース PROJECT」（株式会社 LIXIL との共同プロジェクト）により、市立保育所、子育て支援拠点等 12 か所に計 66 セットの外付け日よけを設置し、その効果について実証実験を行うとともに、結果をホームページ等で公開した。
担当課
政策調査課



玉井保育所に設置した外付け日よけ



籠原保育所のプールの様子

外付け日よけアシスト事業

PT

実施年度

R2～

目的

・室温の上昇抑制を図り、室内での熱中症対策を推進する。

・エアコン稼働率の減少による省エネ効果を促進し、地球温暖化防止を図る。

事業概要

外付け日よけを設置した市民に、設置に要した費用の２０パーセント（上限２万円）を補助金として「まち元気」熊谷市商品券で交付する。補助は、一軒あたり年度内一度限りとする。

担当課

環境政策課







（３）地球温暖化の抑制

温暖化対策計画策定事業

実施年度

H20、H26（第２次）、R2(第３次)

目的

地球温暖化防止のため、市域全体の温室効果ガスの削減に向けた計画策定を図ること。

事業概要

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、「熊谷市地球温暖化対策実行計画」を策定し、市域全体の温室効果ガスの削減を図るためのアクションプランを構築することにより、実効性のある温暖化対策を推進する。

担当課

環境政策課

熊谷 100 年の森づくり事業

実施年度

H20・H23

目的

・緑を増やして CO_2の削減を図り、熊谷市を日本一緑と清流に恵まれた都市に変えること。

事業概要

「熊谷ふるさとの森づくりの会」と連携し、市民の手で中心市街地のクールダウンも視野に入れた「ふるさとの森」づくりを実施。

これまでに、熊谷さくら運動公園や熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」等 6,590 ㎡に 21,280 本の植樹、延べ参加者数約 5,000 人。



担当課

公園緑地課

温暖化防止活動推進センター事業

実施年度

H22～



目的

・市民や事業所、市民団体などと連携して地球温暖化対策の推進を目指すこと。

事業概要

H22 年 10 月 1 日に『熊谷市地球温暖化防止活動推進センター』を開設（R3 年 4 月 1 日から運営は、「NPO 法人エコネットくまがや」）

地球温暖化及びヒートアイランド対策の普及啓発や広報活動、二酸化炭素などを抑制するための相談や助言を行う。

担当課

環境政策課

太陽光発電等普及推進事業

実施年度

H24～（下の①②を統合）

①H19 住宅用太陽光発電システム普及事業、H21～新エネ・省エネ機器普及推進事業に拡大

②H23～業務用新エネ・省エネ設備奨励事業

目的

・再生可能エネルギーの利用を促進し、省エネルギーの推進や二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化防止を図ること。

事業概要

市内の住宅に再生可能エネルギー・省エネルギー設備を設置した方に、設置費用の一部を補助する（設備ごとに上限額等は異なる）。

対象設備（R４時点）

太陽光発電システム、太陽熱利用システム、家庭用燃料電池システム（エネファーム）、家庭用蓄電システム、住宅用エネルギーマネジメントシステム（ＨＥＭＳ）、地中熱利用システム

担当課

環境政策課

低公害軽自動車導入奨励事業

実施年度

H24～R3

目的

・低公害車の普及を促進し、地球温暖化防止を図ること。

事業概要

軽自動車（電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、低公害・低燃費車）を購入し、グリーン化特例が適用となった軽自動車税を納付した方に、軽自動車税種別割相当額を交付した。

担当課

環境政策課

電気自動車用急速充電器の設置

実施年度

H26（H27～稼働）



目的

・低公害車の普及を促進し、地球温暖化防止を図ること。

事業概要

道の駅めぬま及び江南庁舎南側駐車場に電気自動車用急速充電器を設置した（R4 年 12 月から道の駅めぬまの充電器の運用は(株)e-Mobility Power）。

担当課

環境政策課

スマートハウス補助事業

実施年度

H26～

目的

・自然エネルギーの利用を促進し、省エネルギーの推進や二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化防止を図ること。

事業概要

太陽光発電システムや家庭用燃料電池システム（エネファーム）による「創エネ」設備、LED 照明等による「省エネ」設備、家庭用蓄電システムによる「蓄エネ」設備、エネルギーマネジメントシステム(HEMS)による「エネルギーの見える化」設備等を有する住宅(スマートハウス)を、市内に新築又は購入した方に補助を行う。

担当課

環境政策課

緑のリレー事業

実施年度

H26～（H26 の事業名は、緑の力でクールタウン事業）

目的

・緑を守り、地球温暖化防止を図ること。

・緑の重要性を啓発すること。

事業概要

○緑のリレー（H26～）

市内の処分されてしまう樹木を市民から市民へ譲り渡す機会を作るとともに、一定規模以上の大きさの樹木の移植にかかる費用の一部を補助する。

○啓発パンフレット作成（H26）

緑の重要性を啓発するパンフレットを作成する。



担当課

公園緑地課

電気自動車充給電設備普及推進事業
実施年度
R1～
目的
・電気自動車の普及を促進し、地球温暖化防止を図ること。
事業概要
電気自動車充給電設備(V2H/Vehicle to Home)を設置した方に、設置費用の一部を補助する（5 万円を上限）。電気自動車充給電設備(V2H)は、電気自動車やプラグインハイブリッド車を蓄電池として住宅の電源に利用できる設備で、停電や災害時に非常電源として利用したり、電力需要のピーク時に電源として使用することにより、電力需要のピークシフトに貢献できる。
担当課
環境政策課

（４）　熱中症の予防

熱中症予防事業

実施年度

H20～（H20 は、「熱中症予防情報発信事業」として実施）

目的

・熱中症予防のための注意喚起をすること。

事業概要

一般財団法人日本気象協会と連携し、市内小学校(30 校)に熱中症・かぜ予防指標解析表示計を設置し、小学校区ごとの熱中症予防情報やかぜ予防情報などをリアルタイムで市民にホームページやメールで知らせるサービスを実施。熱中症の危険度を５段階に分け発信するとともに、測定データを基に日本気象協会が解析・予測を行い、予防情報を提供する。結果は、ホームページで情報提供するほか、その危険度により防災行政無線での放送や、車両での注意喚起、学校での部活動の実施判定等に活用（防災行政無線での放送(11 時)は、午前９時の時点で、その日の午後 1 時から３時までの予測指標が、全 30 小学校区中、５小学校区以上で「厳重警戒」又は「危険」と表示された場合に実施）。保育所や児童クラブ等では、熱中症予防情報を随時確認し、保育メール等で注意喚起。

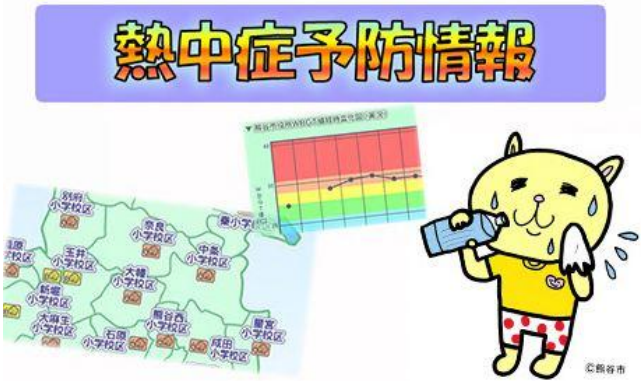
事業開始当時は、全国初の取組であったことから、「見守り熱中症予防事業」と併せて新聞やテレビ等メディアで数多く取り上げられ、これらの報道を通して市民の熱中症に対する意識が高まり、熱中症の発症抑制や、搬送者の軽症化に寄与している。

なお、11 月からは、かぜ予防指標「コンコン指数」に基づく「かぜ予防情報ページ」を開設するとともに「かぜ予防情報メール」を発信している。

担当課

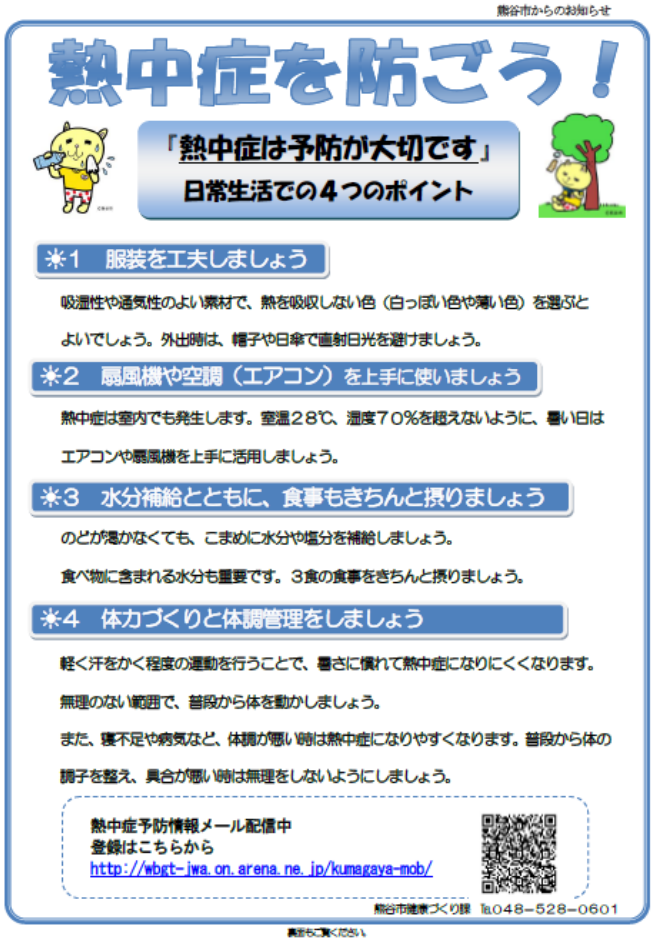
健康づくり課





見守り熱中症予防事業

実施年度
H20
目的
・熱中症による被害を防止すること。
事業概要
熱中症の分類と症状、なぜ暑さが熱中症を招くのか、その予防法や対処法をイラストでわかりやすく解説した熱中症リーフレットを作成し配布。特に熱中症にかかりやすい高齢者対策として、単身高齢者宅を民生委員が訪問し、リーフレットを手渡した。 また、熱中症啓発用のぼり旗を 60 本製作し、市有施設（市役所本庁舎、3 行政センター、熊谷・籠原駅連絡所、さくらめいと、あすねっと、ピピア、熊谷さくら・妻沼運動公園）に 30 本設置。さらに、民間が主催する各種イベント・行事、マスコミの取材において、熱中症予防を啓発するため、のぼり旗 30 本を貸し出した。貸出延べ本数は合計 538 本に達した。のぼり旗のデザインは、40 度以上を示す温度計にうちわをあおぐ「あつべえ」をあしらい、暑さ対策として「帽子、水分、塩分が大切」ということをアピールした。
担当課
健康づくり課





まちなかオアシス事業
実施年度
H23～
目的
・屋外で熱中症にかかるのを予防すること。
事業概要
屋外で気分の悪くなった市民のために、庁舎や公民館など市内 22 か所（R4 年時点）の公共施設に一時的な避難場所となるまちなかオアシスを設置している。オアシスには、冷たいペットボトルや熱中症応急キットを備え付け、必要に応じて無料で提供し、体調回復に役立ててもらっている。
担当課
健康づくり課



小中学校へのエアコン設置

実施年度

H23　全小学校(普通教室)設置完了

H24　全中学校(普通教室)設置完了

H26　全小中学校(利用頻度の高い特別教室)設置完了

目的

・子どもたちが快適な空間で学校生活を送れるようにすること。

事業概要

小中学校の普通教室、利用頻度の高い特別教室にエアコンを設置した。

※ハートフル・ミーティングでいただいた意見を反映して実施したもの。

担当課

教育総務課

PR 事業

PT

実施年度

H23、H24

目的

・熱中症予防を啓発すること。

事業概要

市内在学の高校生や、本市のマスコットキャラクター「ニャオざね」による、暑さ対策のＣＭ（映像）を作成し、市内の映画館や市役所ロビーで放映した。「暑さに負けるな編」「クールスポット紹介編」「雪くま紹介編」「国際交流編」

担当課

広報広聴課





地域へ発信！中学生サポーター事業

PT

実施年度

H23～（H23~H28 は「暑さにまけるな中学生事業」で実施。H29～対象と内容を拡大して実施）

目的

・熱中症にかかる中学生を減らすとともに、いざというときの知識・スキルを身につけること。

・地域の人に熱中症予防の啓発をし、地域で熱中症にかかる人を減らすこと。

事業概要

中学校生活 3 年間をかけて、生徒を暑さ対策サポーターに養成する。

1 年生は暑さ対策セミナーの受講、2 年生はＡＥＤ講習を行い、3 年生では、学んだことを防災行政無線での放送や、地域行事等で情報発信し、熱中症予防を地域の方にまで広げる。体育祭で高齢者にチラシを配りながら声かけをしたり、ショッピングモールや公共施設などで、啓発活動を行うなどした。

（「暑さにまけるな中学生事業」では、中学 2 年生に対して熱中症対策と AED の講習を実施）

※荒川中学校の取組が「ひと涼みアワード」において、2017 年「声かけ賞 官民連携部門 優良賞」、2018 年、2019 年「官民連携部門 優秀賞」を受賞。2020･2021 年「団結部門 最優秀賞」を受賞。2022 年「行政部門トップランナー賞」を受賞。

担当課

学校教育課





単身高齢者等への慰問品配布

実施年度

H24～

目的

・単身で生活する高齢者及び見守りを行う民生委員が熱中症にかかるのを予防すること。

事業概要

単身高齢者台帳登録者に対し、民生委員を通じて熱中症対策に資する慰問品及び熱中症予防啓発チラシを配布する。あわせて、配布のため単身高齢者宅を訪問する民生委員にもお渡しする。

Ｈ24 保冷枕、Ｈ25 ウォーターミストファン、Ｈ26 温湿度計、Ｈ27 冷感タオル、Ｈ28～Ｒ１冷感まくらパッド、R2 冷感ジェル枕、R3 冷却シート

担当課

長寿いきがい課

デジタルサイネージ事業

PT

実施年度

H25～（H25 は、デジタルサイネージ設置事業として実施）



目的

・市民等に熱中症予防情報や行政情報等を提供すること。

事業概要

JR 熊谷駅改札外側に電子掲示板（デジタルサイネージ）を設置し、熱中症予防情報や行政情報、観光情報、災害発生時の緊急情報等を文字により発信する。

担当課

広報広聴課

スマイル de クール時計事業

PT

実施年度

H25、H26（H25 は、「クール＆スマイル事業」として実施）

目的

・市政にあまり関心がない若年層をターゲットに、暑さ対策を広く PR すること。

事業概要

人気サイト「美人時計」とタイアップし、市内のクールスポット等で撮影された笑顔いっぱいの市民の写真を一定時間ごとに美人時計及び市ホームページに表示した。

また、市ホームページ内に暑さ対策特設ページを作成し、ホームページ内の美人時計と連携させ、本市の暑さ対策を全国に発信した。



担当課

広報広聴課

まちかどステッカー事業

PT

実施年度
H26～
目的
・熱中症予防を広く周知すること。
事業概要
熱中症への注意を呼びかけるステッカーを制作し、市内の清涼飲料の自動販売機に貼り付けることで、広く熱中症予防を呼びかけた。
担当課
健康づくり課



みよう広げよう熱中症ゼロの輪事業

PT

実施年度
H26～
目的
・熱中症予防を広く周知すること。
事業概要
熱中症予防・対処法のオリジナル動画(DVD)を制作し、市内小中学校への配付、市民への貸出、各所管団体の会議での放映を行うとともに、市政宅配講座や市職員への研修等にも利用することで、熱中症予防に関する知識を広めた。
担当課
健康づくり課



暑さに強い子“かんげき”！事業

PT

実施年度
H28
目的
・児童自らが暑さに対して心がけができるようにすること。 ・保育士等を目指す大学生の研修機会とすること。
事業概要
子供たちが楽しみながら熱中症を理解できるよう、立正大学と連携し、保育士等を目指す学生の協力を得て、公立保育所などで手作りの紙芝居、寸劇、紙人形劇を媒体とした熱中症予防策を教えた。
担当課
保育課





アロマの香りで涼しさＵＰ事業

PT

実施年度
H28
目的
・暑さによる不快感を軽減すること。
事業概要
5月から 8 月までの間、本庁舎と熊谷図書館の入口にアロマディフューザーを設置し、ミント系のさわやかな香りで涼しさと安らぎをお届けした。
担当課
庶務課、文化センター



小学校委員会活動支援事業

実施年度

H28～

目的

・暑さに対して主体的に考え行動できる児童を育成すること。

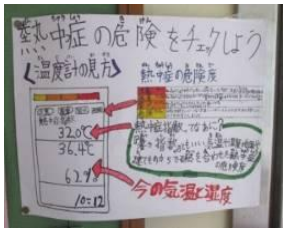
事業概要

各小学校の委員会活動の中で発案された暑さ対策の活動に対して支援を行っている。小学生ならではの様々なアイディアが実践され、熱中症予防に対する意識向上などの直接的効果のほか、「自発的な活動により責任感が高まった。」、「地域や家庭との連携が強化された。」などの声が挙げられている。

実施された取組の一部は下表のとおり。

委員会名	取　組　例
保健委員会	・熱中症予防の児童集会や下級生へ熱中症予防講座を開催 ・体育のあとなどに、水分補給や体温降下のために氷を配布 ・熱中症運動指標ランクの掲示物作成、活用 ・熱中症対策セットを整備し、活動場所へ持ち出し
放送委員会	・熱中症指数や水分補給、涼しい服装などを呼び掛ける。 ・給食時に暑さ対策クイズを放送
運動委員会	・運動中に日陰で休憩できるようにプールや校庭に遮熱シェードなどを張る。 ・ミストシャワーやスプリンクラー等を設置
環境委員会	・グリーンカーテンの設置、打ち水の実施
給食委員会	・熱中症予防のため、残さず食べることや水分補給を呼びかけ
JRC 委員会	・長寿会の方への運動会案内状に、熱中症の留意点や豆知識を入れて作成 ・全クラスを回って、クールスカーフの着用を呼びかけ
飼育委員会	・飼育しているウサギの熱中症予防のポスターを作成し、掲示
図書委員会	・季節のコーナーで「こわい本」の特集を設置









担当課

学校教育課

遊んで学ぼう！熱中症予防啓発事業

PT

実施年度

H29～

目的

・熱中症とその予防法について楽しく学ぶこと。



事業概要

　熱中症やその予防策、市の暑さ対策事業などを遊びながら学べるボードゲーム（すごろく）を作成。
健康づくり課や、小学校（4 年生中心）で貸出。

担当課

健康づくり課

涼くまグランプリ事業

PT

実施年度

H30～（H30 は、「熊谷版ひと涼みアワード（仮称）事業」として実施）

目的

・市民等が主体となった暑さ対策を、多くの市民等に広めること。
・表彰された人のモチベーションを維持・向上させること。

事業概要



「小学校委員会活動支援事業」、「中学生サポーター事業」で行われた優れた暑さ対策の取組や、「涼しさ体感アート事業」及び「みどりのカーテン・コンテスト」の上位者を表彰する「涼くまグランプリ」を開催し、被表彰者のやる気ややりがいを引き出す。さらに、小・中学校の暑さ対策の取組が活発になることで、児童生徒が地球温暖化や熱中症予防等について深く学ぶきっかけ作りになることを期待するとともに、優れた取組を広く発信することで、市内等での暑さ対策の拡大を目指す。

担当課

政策調査課

トイレの中から暑さ対策事業

PT

実施年度

H30～R2

目的

・老若男女問わず、熱中症予防を啓発すること。

事業概要

日常生活の中で、だれもが使うトイレを啓発の場として利用する。熱中症を注意喚起するトイレットペーパーや、尿の色や爪の色の変化で脱水症状の危険度を判定するポスターなどを作成。市役所や公民館、道の駅等の市有施設のほか、駅やスポーツ施設、「熱中症予防声かけ事業」の協力店になっている商業施設のトイレなどに取付けや掲示をした。



担当課

健康づくり課

熱中症予防声かけ事業

PT

実施年度

H30～

目的

・民間企業の協力を得て、より広く熱中症予防の啓発を行うこと。

事業概要

市内のデパートやスーパーマーケット、ドラッグストア等、市民生活に密着した店舗等において、店内放送などによる熱中症の注意喚起を行うほか、店内に啓発ポスターを掲示した。

また、「トイレの中から暑さ対策事業」と連携し、店舗のトイレに、熱中症啓発トイレットペーパー等を設置してもらった。（～Ｒ2）

Ｒ４の協力店舗数は、４４店舗。



担当課

政策調査課、Ｒ１～健康づくり課

暑さ対策ポータルサイト開設事業

PT

実施年度

H30～

目的

・本市の暑さ対策のあゆみや、これまでに取り組んできた施策を紹介すること。

事業概要

「暑さ対策」をメインテーマとしたポータルサイトを市のホームページ内に構築し、より早く、より便利に、必要な情報を入手できるようにする。暑さ対策の情報発信力を高めることで、市民や来訪者等の健康を守るほか、雪くま等の暑さ対策関連事業の知名度を向上させる。



担当課

広報広聴課

クックパッド・熊谷のページ事業

PT

実施年度

H30～R2

目的

・暑さに負けない体作りを進めること（特に、食生活に関する知識や健全な食生活の実践面で課題の多い 20～30 代の世代への食育を推進する）。

・市の暑さ対策や熱中症予防法、市の特産品やイベント等を広く発信すること。

事業概要

日本最大の料理投稿サイト「クックパッド」に熊谷市公式キッチンを開設し、熱中症や夏バテを予防するレシピ等を掲載する。レシピは、学校給食メニューを始め、市民からの公募、市内の学校や市民団体等から提供していただいたもののほか、親善大使でフードコーディネーターの SHIORI さんなどが考案するメニューを掲載。

また、クックパッドのブログ機能を用いて、熱中症予防の啓発、市の暑さ対策や特産品、イベント等の PR を行った。

R3 からは、市の農産物等を PR していくための市公式キッチンとして運用する。



担当課

政策調査課、R3～農業振興課

熱中症応急キット設置事業

PT

実施年度

R1～

目的

・熱中症が疑われる人に対して、迅速に適切な処置を施し、傷病の重症化を防ぐこと。

事業概要

熱中症の患者に対し応急処置ができるよう、147 か所の市有施設に「熱中症応急キット」を設置した。キットには、体を冷やすため、瞬間冷却剤、霧吹き、うちわ、水等が入っている。また、だれもが迷わず使用できるよう、熱中症が疑われる場合の対応や、体のどの部分をどのように冷やすかを記載したフロー図も同梱。



担当課

健康づくり課

熱中症対策キーパー事業

PT

実施年度

R1～R3

目的

・市民等の協力により、楽しく、人目を引く方法で啓発活動を行うこと。

事業概要

ボランティアや職員による熱中症対策キーパー「COOL CREW(クールクルー)」が、市内のイベント等において、噴霧器のミストで涼をつくりながら、熱中症予防を呼びかける。あわせて、チラシやウェットティッシュ等の啓発物品等も配布する。

また、イベント主催者等に噴霧器を貸し出し、イベント時に啓発を行ってもらう。



担当課

スポーツ観光課

中学校委員会活動支援事業

PT

実施年度

R1～（R2～、R1「中学生熱中症対策事業」の取組を拡大して実施）

目的

・生徒自らが主体となって、各中学校の暑さ対策を充実させ、夏期の学校環境を改善すること。

事業概要

中学生熱中症対策事業で、全ての中学校の部活動にＷＢＧＴ計を配布した。これを契機に、夏期の学校環境を改善するため、大型扇風機や製氷機等、各学校で必要な備品の購入を支援する。

実施された取組の一部は下表のとおり。

保健委員会	・ミストシャワー、ミストアーチ設置　・特別教室にスポットクーラー設置
環境委員会	・日差しの強い場所に「よしず」と「グリーンカーテン」を設置 ・日差しを遮るため、遮光ネットの設置
体育委員会	・体育館に大型扇風機設定　・簡易テントで暑さ対策 ・全ての部に、WBGT 計の活用を呼びかける。
緑化委員会	・グリーンカーテン設置
給食委員会	・配膳室に大型扇風機設置

担当課

学校教育課



輻射熱(日射や照り返しなど)を計測

気温、湿度を計測

計測結果から熱中症指数(WBGT)を算出し、注意・警戒・厳重警戒・危険の４段階をバーで表示

参考「熱中症予防運動指針」
（公財）日本体育協会
「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」 屋外の部活動

気温（参考）	暑さ指数（WBGT）	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	WBGT31℃以上では、特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合は中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重注意 （激しい運動は中止）	WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 運動する場合には、頻繁に休息を取り水分・塩分の補給を行う。 体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 （積極的に休憩）	WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 （積極的に水分補給）	WBGT21℃以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 （適宜水分補給）	WBGT21℃未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件では熱中症が発生するので注意。

熱中症に備えるガイドブック発行事業

PT

実施年度

R2

目的

・熱中症対策についてまとめた冊子を作成し、市民に配布することにより、熱中症にならないよう市民一人一人が熱中症に対する知識を身につけ、事前の備えができるようにすること。

事業概要

「健康づくりに関する連携協定」に基づき、大塚製薬㈱の監修の下、熱中症の全般的な対策、こどもに対する対策、高齢者に対する対策、運動時の対策、熱中症にかかった時の応急手当の５つの分野ごとに整理して、見やすい冊子とし、コロナ禍における熱中症リスクを高める夏場のマスク着用時の留意事項を加えるなど、分かりやすく日常生活に役立つ冊子とした。また、各分野に応じたクイズを掲載し、暑さ対策マスター検定事業（市ホームページへ掲載）と連携し、効果的に熱中症の知識や予防法が身につくようにした。



R2 年７月市報同時配布で全世帯に配布し、さらに、転入者等への配布も行っている。

担当課

健康づくり課

暑さ対策マスター検定事業

PT

実施年度

R2～

目的

・熱中症予防等に関する情報を市ホームページ上においてクイズ形式で提供することで、多くの方に楽しくしっかりと知識を身につけてもらうこと。

事業概要

熱中症予防等に関する情報を、市ホームページ上においてクイズ形式で公開する。難易度別に初級・中級・上級の３種類に分け、各級を合格した方には画面上で認定証を交付する。すべての認定証に記載されているキーワードを集めて応募していただいた方に、抽選で「まち元気」熊谷市商品券をプレゼントする。



担当課

広報広聴課

PR 車両整備事業

PT

実施年度

R2

目的

・貸出車両として様々な部署に使用してもらうことにより、暑さ対策をＰＲすること。

事業概要

暑さ対策をＰＲするデザインをラッピングした公用車を導入した。車両にはタープテント等の資材を積載し、職員が組立てを行うことで、簡易的な休息所を設置することができる。

担当課

庶務課



熊谷夏のおもてなし事業

PT

実施年度

R2



目的

・市役所等への来庁者に対する熱中症予防の啓発を図ること。

・暑さ対策日本一に取り組む職員の機運の醸成を図ること。

事業概要

熊谷市ならではの「夏のおもてなし」として、７月と８月の２か月間に熱中症予防を働きかける特別な窓口対応を実施。具体的には、来庁者に熱中症予防カードと塩あめを組み合わせた「おもてなしセット」を職員が特別な声かけとともに配布した。

※塩あめは、ミドリ安全㈱から無償提供いただいた。

担当課

政策調査課

楽しく学ぼう！熱中症対策ドリル事業

PT



実施年度

R3

目的

・児童が熱中症に対する理解を深め、自分で熱中症を予防できるよう学習に取り組んでもらう。

事業概要

「うんこドリル」のキャラクターを使用した熊谷オリジナルの熱中症対策啓発ドリルを作成し、小学校１～３年生に配布する。取組後には「うんこドリル」キャラクターのクリアファイルをプレゼントする。

担当課

健康づくり課

外国人のための熱中症予防啓発うちわ事業

PT





実施年度

R3

目的

・熱中症の認知度が低い外国人への熱中症を予防する。

事業概要

熱中症の知識や予防方法などをやさしい日本語と外国語（英語・中国語）を併記した２種類の「スクマムうちわ」を市役所、行政センター、国際交流協会、観光案内所、宿泊施設等で配布する。

担当課

広報広聴課

熊谷ラグササイズ動画で暑熱順化事業

PT

実施年度

R4

目的

夏の暑さが本格的になる前に体を暑さに適応させ、熱中症にならない体づくりを促進する

事業概要

ラグササイズ考案者の三宅敬氏監修のもと、地元プロラグビーチーム「埼玉パナソニックワイルドナイツ」の選手が出演する「熊谷ラグササイズ動画」を作成しました。YouTube 熊谷市公式チャンネルから、どなたでも気軽にご覧いただけます。

担当課

ラグビータウン推進課

熱中症予防講座等の開催

主な実施内容

・保健師が自主グループや自治会等に出向いて、熱中症予防講話を実施
・救急法指導、自主防災訓練及び自衛消防訓練時に熱中症予防について説明
・スポーツ少年団に対し、熱中症予防講習会を実施
・保健センターにおいて、熱中症の症状など健康に関する相談を実施

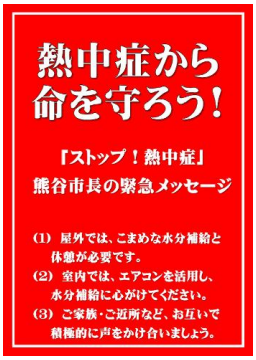
その他

主な実施内容

●一般市民向け

・「熊谷市くらしのカレンダー」に、その月に必要な熱中症対策や注意点等を掲載（R2）PT
・5 月～9 月に市民が集まる会議やイベントの際に、チラシや啓発物品等を配布
・熱中症予防啓発のチラシを市内全世帯に配布（～Ｒ１）
・高温に関する異常天候早期警戒情報の発表(気象庁)を受けて、熊谷市長の緊急メッセージ「熱中症から命を守ろう！～ストップ熱中症～」を発信（H30）





・R2(2020)、環境省と気象庁は高温注意情報に代わる、熱中症予防対策に資する効果的な情報発信として「熱中症警戒アラート」（※）の発表を関東甲信地方（一都八県）で先行実施した。

※「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に、危険な暑さへの注意を呼びかけ、熱中症予防行動を促すための情報。

・R3（2021）には、「熱中症警戒アラート」の発表を、全国を対象に運用を実施した。本市でも、アラート発表時には市民に対し危険な暑さへの気づきを呼びかけ予防行動を促すための情報発信を行った。



●こども向け

・学校で水筒の持参や水分補給の指導

・保育所の各部屋に温湿度計、学校に携帯型熱中症計を配布

・保育所の午睡時に保冷枕を使用、児童クラブに保冷枕、冷却シートを常備

・保育所職員向け熱中症マニュアルを作成

・保育だより、給食だよりでの注意喚起

・子育て支援拠点に対し、利用者へリーフレット等を用いた注意喚起を依頼

●高齢者等向け

・市営住宅内の 70 歳以上の単身高齢者世帯や生活保護受給者へ声かけ

・市営住宅内の 80 歳以上の高齢者世帯へ「熱中症警戒アラート」が発表された際に市職員が電話で（電話がつながらなかった場合、訪問）注意を促すとともに、エアコンの使用状況や体調の確認などを実施(R2～)

●農業従事者向け

・農委だよりでの注意喚起

・ＪＡに対して、農業従事者への熱中症予防啓発を依頼



●運動する人向け

・スポーツ協会から加盟する競技団体に対し、注意喚起を実施

●まちなかでの啓発

・庁用車に「熱中症に注意」のステッカーを貼付

・青色防犯パトロール車による熱中症予防の放送を実施

・消防車両が業務出向する際に広報活動を実施

・ごみ収集車による熱中症予防の放送を実施

●公共施設での啓発

・庁舎４箇所と企業１箇所に懸垂幕を設置



・母子健康センターや老人福祉センター、老人憩の家、男女共同参画推進センター等の市有施設にチラシを設置

・公民館等社会教育施設内に熱中症対策について掲示

・貸し会議室利用者にうちわ貸し出し

・市ホームページに「熱中症に注意」と表示

・市役所本庁舎 1 階ホールのニャオざねに「熱中症に注意するのにゃ！」のタスキがけ。



・市民課等へ向かう階段に熱中症予防の 5 か条を貼り付けた。

あついぞ！熊谷事業

実施年度

H20～（H29~政策推進業務経費の中で実施）

目的

・市民活動を育成し、市民の連帯感の形成や地域の活性化を図ること。

・本市の情報発信を図ること。

事業概要

熊谷の夏の暑さを逆手にとって、貴重な地域資源としてプラスに捉え、「暑さ」をキーワードに、市民と行政が協働し、気温の暑さや市民の気持ちの熱さを楽しみながらまちづくりに生かす事業を展開する。

○冠エントリー事業（H20～H27）※H18,H19 は、単独の事業として実施

個人や団体、企業が『あついぞ！熊谷』の冠をつけて行うイベントなどの事業を募集してとりまとめ、市報やポスター等でＰＲする。

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
エントリー件数	45	60	71	72	78	76	78	66

○U-18 少年熱中大使事業（H20～）※H19 は、単独の事業として実施

スポーツや文化芸術分野等で、国・県レベルの大会に出場する 18 歳以下の少年・少女にＴシャツを配布し、大会時に着用してもらうことで、本市を PR する。

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
配布数	1,209	1,007	1,239	1,003	1,064	1,150	1,157	1,086	1,214	670	688

年度	R1	R2	R3	R4※
配布数	829	110	475	687

※令和５年２月 21 日時点





○熊谷市オリジナルうちわ・俳句扇子の販売事業（H20～）

※H19 は単独の事業、H20、H21 は、あつべえうちわについては「あつべえうちわ事業」で実施

熊谷をＰＲする新たなお土産品として、また節電対策としても最適であることから、名誉市民・故　金子兜太先生の俳句が描かれた「扇子」を作製・販売する。「うちわ」の販売については、R 元年度をもって終了した。

H20 には、北海道洞爺湖サミットが開催されるにあたり、先進国 8 カ国語で記された記念バージョンの「あつべえうちわ」を各国に謹呈して、熊谷市の地球温暖化防止の取組を世界に紹介した。



担当課
企画課、H30~政策調査課

＊金子兜太先生におかれましては、H30 年 2 月 20 日に御逝去されました。

熊谷染日傘普及事業

実施年度

H20～H28

目的

・熊谷の暑さ対策と快晴率日本一をＰＲすること。

・伝統工芸品である熊谷染を振興すること。

事業概要

熊谷市観光協会が手書きの桜、熊谷草、花火の 3 種類と、小紋の桜の熊谷染日傘の計 4 種を製作し、販売。

担当課

スポーツ観光課





FM-NACK5 番組放送事業

実施年度

H20～

目的

・熊谷市の魅力を広くアピールすること。

事業概要

ラジオ放送局ＦＭ　ＮＡＣＫ５の人気番組「GOGOMONZ」内で、本市の特別コーナーや、市長が熱く語る「うちわ祭」「花火大会」等のスポットＣＭなどを放送。本市に拠点を置くスポーツチームや暑さ対策事業等に関連した市内飲食店へのインタビューを通じ、市の魅力を関東全域に広くアピールした。

担当課

広報広聴課

ホームページでＰＲ事業

実施年度

H20～H29

目的

・熊谷市の魅力を広くアピールすること。

事業概要

市のホームページをリニューアルし、「あっぱれ熊谷流」専用トップページ及びコンテンツを設けた。H30 からは「暑さ対策ポータルサイト開設事業」により構築したポータルサイト「熊谷市暑さ対策バンク」に引き継がれた。

担当課

広報広聴課

涼しさ体感アート事業

実施年度

H23～（H24 は、市民協働「熊谷の力」涼しさ体感事業として実施）

目的

・視覚から涼しさを感じてもらうこと。

事業概要

「涼」、「水」、「青」をテーマにした作品を公募し、優秀作品をシールにして、ＪＲ熊谷駅、籠原駅の階段計６か所に展示する。その他、H23,H24 は、市役所や行政センター等への緑化アート展示等も実施。

担当課

企画課（H30、R4 のみ政策調査課）



R4
「納涼」



R3
「夏空と鯨」



R2
「澄清」



R1
「朝顔の庭」

暑さと乾杯！熊之糀事業

実施年度

H29～

目的

・夏バテしにくい体づくりを呼びかけること。

・新たな熊谷名物をつくり、地域活性化を図ること。

事業概要

熊谷産の米から作った栄養満点の糀甘酒を「熊之糀（くまのこうじ）」と名付け、熊之糀を使ったスイーツ（ドリンク、和菓子、かき氷、ジェラート等）を市内店舗で販売する。

担当課

スポーツ観光課



（６）大学との連携

立正大学 「めざせ！暑さ対策研究日本一支援事業」

実施年度

H29～R1

目的

・熊谷市の暑さの特徴等を解明し、暑さ対策事業の根拠として活用すること。

事業概要

立正大学地球環境科学部と連携して、市が保有する暑さに関するデータ(熱中症救急搬送者の詳細データ、全小学校区に設置している観測機の１分ごとの気象データ等)を立正大学に提供し、分析及び研究を進めることで、本市の暑さの傾向及び熱中症搬送者の特徴等を明らかにし、その成果を今後の熱中症予防の啓発や暑さ対策事業の根拠として活用する。

【研究概要】

熊谷市の夏季における熱中症による救急搬送人員数等の調査データ等を用いて、環境温度の上昇によって発症する「古典的熱中症」と、そこにスポーツや肉体労働などで体内の熱産生が加わって発症する「労作性熱中症」の実態把握調査と、そのタイプ別の発症予測式の構築を行う。

【学会等での発表状況】

・埼玉県熊谷市における都市と郊外の比湿差の特徴（日本気象学会 2018 年度秋季大会）

・都市内外における境界層内の三次元風分布―ドップラーライダーを用いた移動観測（同上）

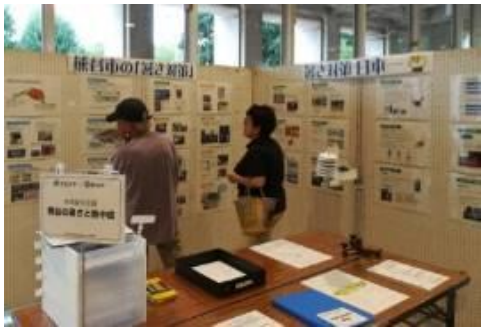
・埼玉県熊谷市における熱中症搬送者の地域詳細な実態把握と気象要素との関連性(第 56 回日本生気象学会)

・地上稠密観測 POTEKA に基づく中小規模都市ヒートアイランドに伴う地上風系（日本気象学会 2017 年度秋季大会）

・埼玉県熊谷市の近年の熱中症搬送者の特徴と傾向（バイオクリマ研究会 2018 年 2 月）

担当課

政策調査課





東京学芸大学

実施内容

東京学芸大学教育学部地理学分野の准教授等に、熊谷市の気象データを提供するとともに、保育士や、小・中学校の養護教諭へのアンケート調査に協力している。

【学会等での発表状況】

・養護教諭の暑熱に対する関心の契機と認識―熊谷市の小・中学校を対象として―（日本地理学会　地理学評論（第 91 巻　第 6 号、2018 年））

・夏季暑熱地域における子どものあそびおよび保育者の暑熱判断―熊谷市を対象として―（季刊地理学　第 71 巻（2019 年 3 月））

・熊谷市における暑熱対策に対する多様な部署の取り組み及び実務者の関心（季刊地理学　第 74 巻（2022 年 8 月））

担当課

政策調査課



（７） 民間企業等と連携した取組

市内飲食店等

・雪くま（再掲）（H18/2006 年度～）

熊谷のおいしい水で作った貫目氷を、雪のようにふわふわに削り、お店オリジナルのシロップをかけたかき氷を熊谷名物として売り出している。開始当時は 11 店舗だったのが、R３.１０月現在、３１店舗となっている。

・熊之糀（再掲）（H29/2017 年度~）

「熊之糀（くまのこうじ）」とは、熊谷産のお米から作った糀甘酒のこと。糀甘酒は、「飲む点滴」と称されるほど栄養価に優れていて、もともとは夏バテ対策の飲み物として親しまれていた。そんな栄養満点の糀甘酒スイーツ（ドリンク、和菓子、かき氷、ジェラート等）を市内店舗で販売している。

熱中症予防声かけプロジェクト（H23/2011 年度～）

環境省を始め、全国の企業、行政、民間団体で組織される、熱中症予防を推進する運動。

熊谷市は行政賛同会員として、7 月の「熱中症予防強化月間」に合わせて、全国一斉で実施する「熱中症予防声かけ出陣式」での啓発活動を始め、ポスターの掲示などを行っている。R2(2020)は、新型コロナウイルス感染予防のため中止となったが、R3（2021）はオンラインにて開催され、市長と暑さ対策プロジェクトチームが動画により啓発を行った。

ミサワホーム株式会社（H24/2012 年度～）



熊谷スマートタウン整備事業において、公募型プロポーザルで選定したミサワホームが開発を行い、太陽光発電システムや燃料電池システム、LED 照明等の環境設備が導入された、家庭での一次エネルギー消費をゼロにするネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)が標準仕様となったスマートハウスを整備し、販売。太陽や風、水や緑などの自然の力を利用しながら、夏を涼しく冬を暖かく暮らす知恵「微気候デザイン」という手法を取り入れた体感温度マイナス 3.5℃のまちづくりがされている。

クールシェアくまがや実行委員会　（H24/2012 年度～）

「クールシェア」は、涼しい場所をみんなでシェア(共有)し、電力使用を減らすことを目的とするもので、環境省が地球温暖化対策に資するあらゆる賢い選択を促す国民運動として推進する「COOL CHOICE」の主要施策の一つとなっている。

本市では、熊谷商工会議所、熊谷青年会議所、くまがや市商工会に加え、立正大学や商店街連合会、ロータリークラブ、PTA 連合会、自治会連合会、NPO など、数多くの団体の協力を得て実行委員会が立ち上げられ、地球温暖化対策に加え、熊谷独自の「人と人のつながりを深め、コミュニティの育成やまちの活性化につなげる」とのコンセプトを併せた事業展開がされている。その中でも、クールシェアスポットに登録されているお店に出かけるとサービスを受けられる取組は夏の定番にもなっており、登録店舗(施設)は R3(2021)で、237 店舗にのぼっている。さらに、H29～R1 は、店舗等が開催する様々な講座を体験できる「街なかゼミナール」の取組を行った。R2 から、クールシェアマップがオンライン化された。（右記コード）

クールシェアくまがや

熱中症ゼロへ（H25/2013 年度～）

熱中症にかかる方を減らし、亡くなる方をゼロにすることを目指して(一財)日本気象協会が推進するプロジェクト。

熊谷市は、このプロジェクトに賛同し、商品やサービスを通じて熱中症対策をサポートするオフィシャルパートナー(民間企業)から提供される啓発物をイベントや会議、セミナー等に参加する市民へ配布しながら、広く声かけを行っている。

H30(2018)は、市が主催した室内熱中症予防セミナーへの講師派遣、R1(2019)は、全中学校に 1 台ずつ黒球付き熱中症計の寄贈を受けたほか、奈良中学校において、日本気象協会所属の気象予報士を講師とした熱中症予防セミナーを実施した。また、同講師等による一般向けセミナーも共催した。



環境省（H28/2016 年度）

屋外での人の体感温度を下げることで屋内と屋外の熱環境の差を小さくし、人の感じる暑さをやわらげるとともに、夏の熱い時期に人の外出機会を増加させ、屋内冷房の抑制につなげることを目的として、余剰地下水等を利用した低炭素型都市創出のための調査・検証事業を、市役所敷地内にある熊谷市ゆうゆうバス　熊谷市役所前バス停で実施。５月中旬から９月下旬までの期間に、日除けや西日除けルーバー、冷却ルーバー、水景施設、保水ブロックを設置した。



株式会社伊藤園（H28/2016 年度～）

・「健康ミネラルむぎ茶」(600ml、R3～650ml ペットボトル)をクールシェアくまがや公式飲料とし、熊谷限定オリジナルパッケージで販売した。パッケージは「くまがや再発見」と銘打ち、H28(2016)は、熊谷市のマスコットキャラクターニャオざねやうちわ祭、熊谷染、ラグビーを紹介する４種類、R3(2021)は、暑さ対策やラグビー場、スクマム、妻沼聖天山歓喜院聖天堂など ８ 種類のパッケージを作成し、市内のスーパーで販売した。



・自校式の小・中学校(H29/2017 年)、市立保育所(H30/2018、R1/2019 年)の給食等において、粉末の麦茶を使った「ミネラルむぎ茶蒸しパン」を提供し、子供たちに水分・ミネラル補給の大切さを伝えた。

株式会社ニッセン（H28/2016 年度）

自ら温度管理をすることが難しい、寝たきりの高齢者や小さいお子さんが集まる子育て支援拠点、保育所等に、寄附していただいたクール敷パッド、マット等を配布した。



大塚製薬株式会社（H29/2017 年度～）

H29 年 5 月 26 日に締結した熱中症対策をはじめとする「健康づくりに関する連携協定」をもとに、H29(2018)は、熱中症予防の絵本 1,250 冊が市立保育所あてにプレゼントされ、この絵本を使ったお話会を開催した。また、職員や市民向けの熱中症予防講習会も開催した。

R1(2019)には、出張授業「こども熱中症」を小学校 2 校において、1 年生を対象に行った。また、当年から暑さ対策プロジェクトチームに対して、熱中症のメカニズムや予防法、対処法等の講義をしていただいている。R2(2020)は、「熱中症に備えるガイドブック」作成に当たっての監修や、小・中学校での熱中症予防啓発のため校内放送用音源の提供、高齢者の「巣ごもり熱中症」予防のためのチラシ(3,000 枚)とアイススラリーの提供(1,230 個)等の協力をいただいた。





ネスレ日本株式会社（H29/2017 年度）

政府が定める熱中症予防強化月間（7 月）に、市役所 1 階のまちなかオアシスにおいてアイス抹茶を配布し、こまめな水分補給と休息など、熱中症予防のポイントや熊谷市の暑さ対策などを呼び掛けた。





株式会社 LIXIL　（H29/2017 年度～）

熱中症搬送者の半数近くを占める室内熱中症の危険性と予防について広く発信するため、クール de ピースプロジェクトを共同展開。

・H29(2017)には、市立保育所や子育て支援拠点、箱田高齢者・児童ふれあいセンターの計 12 か所に、合計 66 セットの外付け日よけ(スタイルシェード)を設置した。

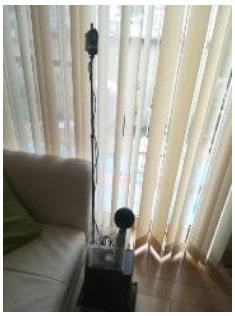
・H30(2018)は、前年度に外付け日よけを設置した保育所での効果検証を実施し、結果をホームページで公開したほか、室内熱中症予防セミナーを開催し、専門医からの

熱中症の講演や立正大学地球環境科学部の研究発表、住宅における室内熱中症の予防策の周知等を行った。

・R1(2019)は、市民モニターによる実証実験を実施し、室内外の温度・湿度、WBGT値、室内サーモグラフィのほか、エアコン消費電力や心拍数・鼓膜温・血圧などのバイタルデータを分析。外付け日よけは、室内熱中症のリスクを低減することが判明した。

・R2(2020)からは、実証実験の結果を踏まえ、住宅用外付け日よけ設置補助金制度を開始し、市民への室内熱中症予防対策の普及啓発を推進している。※環境省補助事業





花王株式会社（H29/2017 年度）

疲れやすい夏を快適に過ごすため、「きもちいいぞ！熊谷プロジェクト」を発足。

・市役所に「きもちいいぞ！熊谷課」を臨時設置し、熱中症予防や暑さ対策事業の情報提供をするとともに、夏バテに効果的な入浴法として「クールダウン浴」を体験してもらうため、入浴剤のバブクール等を配布した。

・熊谷うちわ祭や打ち水大作戦などのイベントにおいて広く情報発信を行った。

・市内外の薬局等に、「きもちいいぞ！熊谷」特設コーナーを設置した。

・和洋菓子の三河屋で、事業とコラボした「きもちいいぞ！熊谷」雪くまを限定販売した。





埼玉北部ヤクルト販売株式会社（H30/2018 年度~）

熱中症の症状や応急処置、年齢層ごとの注意点などを書いた啓発チラシを作成し、ヤクルトレディが市民や市内の事業所、企業において、訪問販売する際に熱中症予防の声かけを行った。

R4 は、8,500 枚のチラシを配布した。

東京ガス株式会社 （H30/2018 年度）

地球温暖化を防止するために、エネルギーや資源を無駄に使わない環境にやさしい食生活「エコ・クッキング」について、クックパッドの熊谷市公式ページで紹介した。



株式会社ロッテ（H30/2018 年度）

熱中症対策や応急処置に、体を冷やすことが効果的であることなどを啓発するイベントを中央公園及び熊谷駅南口広場で行った。参加者には、冷気噴射マシン「クーリッシュシャワー」で涼しさを感じてもらうとともに、飲むアイス「クーリッシュ」及び熱中症啓発リーフレットを配布した。



パナソニック株式会社（H30/2018 年度）

H30 年 11 月 1 日に開催されたパナソニック 100 周年記念フォーラムにおいて、市長が都市温暖化対策の取組事例を発表するとともに、これまでの開発・実装普及における課題をテーマとしたパネルディスカッションに、㈱隈研吾建築都市設計事務所、東京大学生産技術研究所、積水樹脂㈱の方々とともに登壇し、意見交換を行った。

日清シスコ株式会社（R1/2019 年度）

熊谷産小麦を 5.2%使用し、熱中症対策にミネラルを配合した「ミネラル塩サブレ」を全国発売。小分けパッケージで、熱中症予防を呼びかけた。





東芝ライフスタイル株式会社（R1/2019 年度）

暑くなる前にエアコンの試運転を行うことで、夏場のエアコン使用を確実にし、室内熱中症を予防することや、水分をこまめに補給すること、外付けの日よけが有効であることなど、室内熱中症対策をまとめたニャオざねのオリジナルクリアファイルを 25,000 枚作成し、室内熱中症の危険性の高い高齢者や小さい子供等を中心に広く市民に配布した。



コールマンジャパン株式会社（R1/2019 年度）

保育所や小中学校、市のイベント等における暑さ対策として、遮熱シェード等を 100 セット以上寄贈いただいた。

保育所の外遊びやプール、小中学校の屋外活動や運動会、イベントなどで広く利用され、遮熱効果を多くの市民の方に実感していただいた。



バイオデータバンク株式会社（R1/2019 年度）

うちわ祭期間中、熱中症になる数歩手前で危険を知らせるリストバンドを小学生から高齢者まで関係者に配布、熱中症予防に役立ててもらうとともに、データの収集を行う実証実験を実施。アンケート結果では、装着により、熱中症予防の意識が高まったとの回答が多かった。



Biodata Bank, Inc.

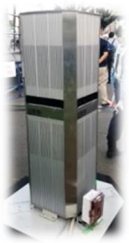
株式会社明治（R1/2019 年度）

乳たんぱくの体内水分保持効果や乳酸菌の整腸作用による自律神経の安定、栄養の摂取効率上昇など、熱中症にヨーグルトが有効であることなどを啓発するために、無償提供された飲むヨーグルトを市立保育所で 7～9 月に継続摂取するとともに、イベントで配布した。



ダイキン工業株式会社（R1/2019 年度）

ラグビーワールドカップ 2019™ のファンゾーン(10 日間)に、4 方向から大風量で冷風を吹き出せる屋外型エアコン「OUTER TOWER」を設置した。



ミドリ安全株式会社（R２/2020 年度）

熱中症が多く発生する 7 月と 8 月の 2 か月間に熱中症予防カードと塩あめを組み合わせた「おもてなしセット」を市有施設の窓口で配布し、熱中症予防の啓発を行った。ミドリ安全株式会社より塩あめを無償提供していただいた。

環境省・気象庁（R2/2020 年度）

Ｒ２年度夏からの「熱中症警戒アラート」の試行に先立ち、環境省と気象庁により「熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会」が立ち上げられ、本市は検討会の構成委員として参加した。同検討会において、今回のアラートの発想につながったとされる、本市が一般財団法人日本気象協会と連携して取り組むオリジナルの「熱中症予防情報システム」を活用した市民への熱中症予防啓発の取組や、アラート発表時における防災行政無線や巡回放送、メール、FAX、電話連絡等による市民への情報伝達にかかる対応事例、そして試行を終えての課題等について、本市は基礎自治体の立場から意見を発表した。「熱中症警戒アラート」は R3 年度から全国を対象とした運用を開始した。

埼玉武蔵ヒートベアーズ×カバヤ食品（R3/2021 年度）

市民の熱中症ゼロを目指し、市内小売店舗で対象商品を購入すると抽選で景品が当たるキャンペーンを行うとともに、ヒートベアーズの試合会場においてカバヤ食品の塩分チャージタブレッツと熱中症予防のリーフレットを配布し、観戦者に熱中症予防を呼びかけた。



凸版印刷株式会社・東京理科大学（R3/2021 年度～）

国立研究開発法人情報通信研究機構委託研究

研究課題名：データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発（第３回）
副題：個人別熱中症リスク情報見える化システムの研究開発～埼玉県熊谷市における効果検証～

個人の属性や状態に応じた熱中症リスクを収集・評価し、市民にわかりやすく情報発信するためのシステム研究開発を凸版印刷と東京理科大学が行う。本市は実証実験フィールドを提供するなど、研究に協力する。R2（2020）～R4（2022）の３年間の計画となっている。

熱中症予防セミナー（H30/2018 年度～）

民間企業等と連携した熱中症予防セミナーを H30 年（2018）から開催している。

回数	タイトル	日時	会場名
1	室内熱中症予防セミナー	H30(2018)年６月２日(土) 13：00～15：30	妻沼中央公民館 大ホール
	【内容】 熊谷市主催・株式会社 LIXIL 協賛 ① 熊谷市の暑さ対策事業について 熊谷市市長公室政策調査課 ② 熊谷市の熱中症発症の実態に迫る 立正大学地球環境科学部環境システム学科　鈴木パーカー明日香助教 ③ 住まいの日よけ対策のポイント LIXIL 関東支社長　太田博明 ④ 専門医が教える熱中症のメカニズムと予防・対策 帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長　三宅康史		

回数	タイトル	日時	会場名
2	熱中症予防セミナー	R 元(2019)年５月 25 日(土) 14：30～16：30	大里生涯学習センター 「あすねっと」大ホール
	【内容】熊谷市主催・日本気象協会推進「熱中症ゼロへ」プロジェクト共催 ① 熊谷市の暑さ対策事業について 熊谷市市長公室政策調査課 ② 熊谷の夏の天気を解説　今年はどーなる！？ 日本気象協会　気象予報士　久保智子 ③ 熱中症とは？専門医が教える予防と対策 帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長　三宅康史		

回数	タイトル	日時	会場名
3	熱中症予防ウェブセミナー	R3（2021）年５月１日から８月 31 日	市ホームページ（動画コンテンツを公開）
	【内容】熊谷市主催・株式会社 LIXIL 協賛 立正大学　埼玉武蔵ヒートベアーズ　協力 ① 熊谷市の熱中症発症と暑さの実態 立正大学地球環境科学部環境システム学科　講師　鈴木パーカー明日香 ② 熊谷市の暑さ対策事業について 熊谷市暑さ対策プロジェクトチーム ③ 室内熱中症対策のポイント 株式会社 LIXIL　LHT-J　関東サッシドア営業部　部長　和田公一 ④ 熱中症予防メッセージ 埼玉武蔵ヒートベアーズの選手		

大塚製薬株式会社及び埼玉パナソニックワイルドナイツ協働事業

（R４/202２年度）

ラグビーを絡めた健康事業を通じて、市民への健康啓発と地域活性化を目指すため、埼玉パナソニックワイルドナイツの選手を起用したデザインの「のぼり旗」及び「ポスター」を小中学校及び市有施設に設置、環境省後援の「熱中症対策アドバイザー」となった埼玉パナソニックワイルドナイツの選手による中学校での啓発授業、ＦＭクマガヤでの熱中症対策のお知らせを行った。

バイオデータバンク株式会社（R４/202２年度）



腕時計型デバイスの利用という新しい熱中症対策について研究するとともに、この取組に参加した市職員を熱中症の危険から守ることを目的として、ヒトヴァンス株式会社が商品化・販売する「熱中対策ウォッチ『カナリア』」を、希望する市職員１４５名に配布した。

パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社×トラストワン株式会社（R４/202２年度）

エアコンの普及と利用状況の検証等による効果的な熱中症対策及び省エネエアコン利用による地球温暖化対策を促進するため、高齢者世帯や子育て世帯に向けて、高機能・省エネエアコンのサブスクリプション型サービスを行った。また、事業の展開に当たっては、パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社及びトラストワン株式会社と包括連携協定を締結した。

5　おわりに

熊谷市では、地球温暖化対策、熱中症予防など、様々な側面から、暑さ対策に取り組んでいます。特に、熱中症予防については、効果を高めるために、市民全体に対して啓発するほか、幼児、小学生、中学生、高齢者向けなど、熱中症にかかりやすい世代を対象に、それぞれの年齢に応じた取組を行いました。実施に当たっては、大学や民間企業などと連携して、それぞれの得意分野を生かした役割分担を行うなど、全国的にも例を見ない取組を多数行っています。

また、熊谷オリジナルのかき氷「雪くま」や、夏バテに効果のある糀甘酒を使ったスイーツ「熊之糀」を新たな地域ブランドとして展開したり、妻沼聖天山の国宝「歓喜院聖天堂」周辺の商店街で日傘を無料で貸し出したりするなど、市民や観光客が市内をめぐる機会を創出しており、暑さ対策が、市民の健康を守るだけでなく、商店街やまちの活性化につながるなどの付加価値も生み出しています。

暑いまちから暑さ対策日本一のまちへ、「あついぞ熊谷！」の心意気はそのままに、これからも効果的な暑さ対策に取り組み、熱中症ゼロを目指していきます。市民の皆様や、企業、大学の方々とも連携して、「ONE　TEAM」になって取り組んでいけたらと考えています。



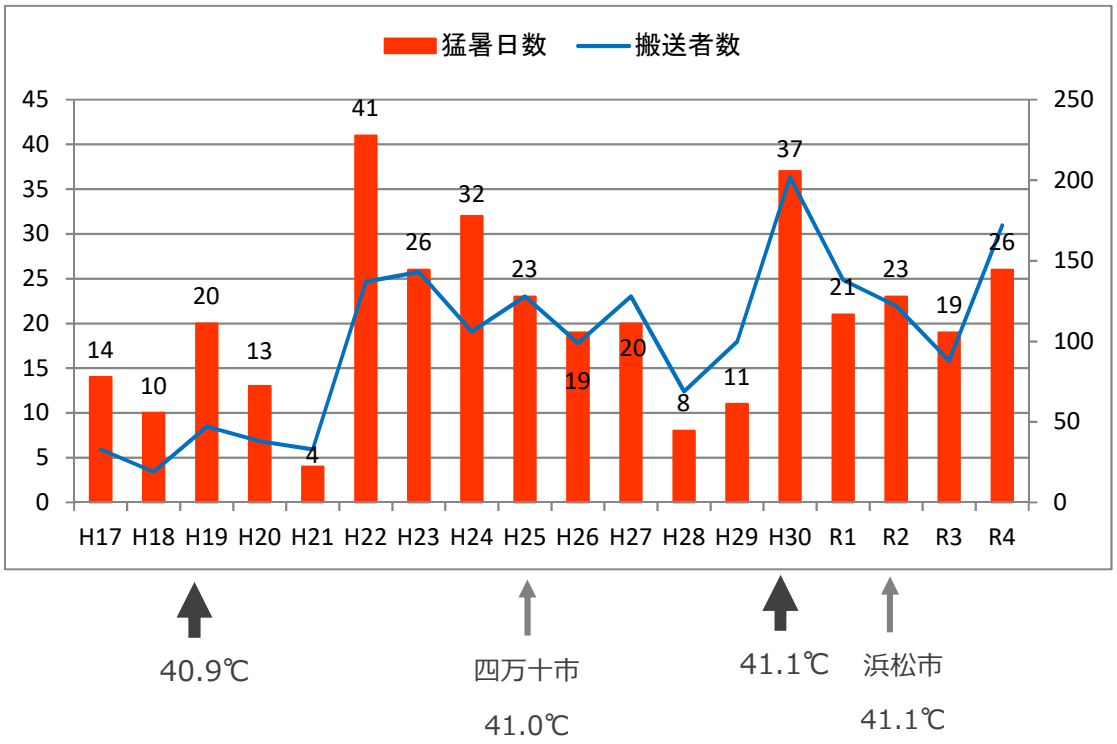
暑さ対策プロジェクトチーム　R3 年 6 月撮影

6　参考資料

参考資料①「あついぞ！熊谷」関連事業の実施状況

年度	で き ご と
H15	元気なまち熊谷ひとづくり支援事業(以下、「元気なまち」)開始
H16	「元気なまち」の一環として、「ハートフルタウン・チャレンジタウンひとづくり支援事業」を実施
H17	「元気なまち」の一環として、「「あついぞ！熊谷」人づくり支援事業」を実施。暑さを楽しみながら積極的にまちづくりに活かそうとする人や、気持ちの熱さから着想した事業に取り組もうとする人、熊谷の暑さや熱さを事業名に入れた地域貢献型あるいは地域発信型の新たな事業を主体的に実施する人などを募集し、支援する事業。【29 事業採択】
H18	「元気なまち」の市民活動・ボランティア支援部分は、市民活動推進課で実施。 PR 部分は、「「あついぞ！熊谷」まちづくり事業」で次のとおり実施。 ●冠事業庁内募集　各課の事業で「あついぞ！熊谷」を使用できるものを募集し、チラシ等で PR。【H18:13 事業、H19:11 事業】 ●冠事業エントリー制度　事業所や市民グループが「あついぞ！熊谷」のコピーを使用して実施する事業をチラシ等で PR。また、「あついぞ！熊谷」のまちおこしのための成果品ができる等、本来事業に追加した活動がある場合、報奨金を支給(H18、19 のみ)。【H18:72 事業(うち報奨金 19)、H19:59 事業(うち報奨金 19)、 ●イベント　市民が「あついぞ！熊谷」のコピーのもとにまちを盛り上げるイベントの企画提案コンペを行い、優秀企画は、市が委託して実施。【くまがや市民活動ふれあいネットワーク提案の「「あついぞ！熊谷」楽しみませんか？こんな夏」を採択】 ●PR 市民キャラバン隊　旅行先・視察先等で、熊谷の PR を行ってくれる市民を募集し、T シャツ及び新熊谷市の観光マップを提供する(H18:47 チーム)。 ●T シャツの販売　T シャツを作成し、市観光協会で販売。
H19	H18 の事業と併せて、涼みながら楽しむという健康志向の事業を実施。 ●暑さを楽しむ事業　涼しく過ごしながら暑さを楽しむイベントの企画やグッズ・食べ物等の作成の提案を募集し、チラシ等で PR（テーマ：暑、熱、風、水、川、海、涼）。優秀企画には報奨金を支給。 ●少年熱中大使　県・国レベルの大会等に出場する 18 歳以下の市民で、少年熱中大使になってくれる人に T シャツを配布し、大会等で着用して市を PR。 ●シンボルキャラクター名前募集　「あついぞ！熊谷」シンボルキャラクターの名前（愛称）を市民から募集【あつべえに決定】 ●熱中症予防対策　小中学校、幼稚園、保育所、乳幼児健診、健康講座等に、熱中症予防の話を入れる。

参考資料②熊谷市の年度別猛暑日日数（猛暑日：35℃以上）



参考資料③埼玉県における「熱中症警戒アラート」の発表回数

年	R2（2020）	R3（2021）	R4（2022）
回数	11 回	7 回	16 回

※R2（2020）は試行

④時系列索引

和暦	西暦	できごと	掲載ページ
H16	2004	全国的猛暑。熊谷市では猛暑日日数28日を記録(日本一)	2
H17	2005	「あついぞ！熊谷」ひとづくり支援事業実施	2
H18	2006	「熊谷市活性化プロジェクトチーム」が「雪くま」を考案	46
		「あついぞ！熊谷」のシンボルキャラクターのデザインが決定、全国公募により名前が「あつべえ」に。	65
H19	2007	国内最高気温（当時）40.9℃観測（8月16日）	1
		「ヒートアイランド対策推進都市」を宣言（10月1日）	-
		職員から暑さ対策のアイディア募集	2
		植生インターロッキングブロック・保水性舗装の駐車場整備	8
H20	**2008**	**「あっぱれ！熊谷流」プロジェクト始動**	2
		市民活動事業（はじめの一歩助成金）	9
		遮熱性舗装事業	8
		市民活動事業（花いっぱい・打水　子どもの見守り大作戦）	10
		保育所花いっぱい事業、学校花緑いっぱい事業	10
		花緑いっぱい事業	10
		壁面緑化事業	14
		小学校/中学校緑のカーテン推進事業	14
		熊谷駅広場冷却ミスト事業、高校総合体育大会冷却ミスト事業、うちわ祭冷却ミスト事業	15
		保育所遮熱塗装事業	19
		温暖化対策計画策定事業	22
		熊谷100年の森づくり事業	22
		住宅用太陽光発電システム普及事業	23
		熱中症予防情報発信事業	27
		見守り熱中症予防事業	28
		雪くま	46,54
		あついぞ！熊谷事業	47
		あつべえうちわ事業	48
		熊谷染日傘普及事業	49
		FM-NACK5番組放送事業	49
		ホームページPR事業	50

和暦	西暦	できごと	掲載ページ
H21	2009	市民活動事業（校区花いっぱい）	10
		緑のカーテン推進事業	10
		新エネ・省エネ機器普及推進事業	23
H22	**2010**	**暑さ対策プロジェクトチーム発足（10月27日）**	2
		壁面緑化推進事業	14
		熱線反射・断熱フィルム施工事業	19
		熊谷市地球温暖化防止活動推進センター開設（10月）	23
		熊谷市の猛暑日日数41日。最高記録を更新。	66
H23	2011	熱中症予防グッズ（クールスカーフ）配布事業	16
		業務用新エネ・省エネ設備奨励事業	23
		まちなかオアシス事業	29
		PR事業	30
		暑さにまけるな中学生事業	31
		涼しさ体感アート事業	50
		熱中症予防声かけプロジェクトの活動に賛同	54
H24	2012	ひと涼みアワード2012　トップランナー賞を受賞	4
		太陽光発電等普及維持事業	23
		低公害軽自動車導入奨励事業	24
		全小学校の普通教室にエアコン設置完了(3月)	30
		全中学校の普通教室にエアコン設置完了(9月)	30
		ミサワホーム㈱　熊谷スマートタウン整備事業	54
		クールシェアの取組開始	55
H25	2013	ひと涼みアワード2013　行政トップランナー特別賞を受賞	4
		保育所ひんやりペタペタ事業（熱交換塗料塗布）	10
		デジタルサイネージ事業	32
		クール＆スマイル事業	32
		「熱中症ゼロへ」プロジェクトに賛同	55
		高知県四万十市で41.0℃観測（8月12日）	66

和暦	西暦	できごと	掲載ページ
H26	2014	ひと涼みアワード2014　トップランナー賞を受賞	4
		藤のパラソル事業	6
		電気自動車用急速充電器の設置	24
		スマートハウス補助事業	25
		緑の力でクールタウン事業	25
		小中学校の利用頻度の高い特別教室にエアコン設置完了	30
		まちかどステッカー事業	33
		みよう広げよう熱中症ゼロの輪事業（DVD)	33
H27	2015	ひと涼みアワード2015　最優秀啓発賞を受賞	4
		えんむすび日傘事業	6
		ちびっこ元気事業	17
H28	2016	ひと涼みアワード2016　トップランナー賞を受賞	4
		ミストシャワー購入支援事業	16
		暑さに強い子“かんげき”！事業	34
		アロマの香りで涼しさUP事業	34
		小学校委員会活動支援事業	35
		環境省の検査・検証事業を実施（市役所ロータリーに「ひと涼みバス停」設置）	56
		㈱伊藤園「健康ミネラルむぎ茶」をクールシェアくまがや公式飲料としてオリジナルパッケージで販売	56
		㈱ニッセン寄贈のクール敷パッド・マット等を配布	56
H29	2017	ひと涼みアワード2017　トップランナー賞を受賞	4
		熊谷さくら運動公園日陰創出事業	7
		㈱LIXILと室内熱中症対策強化のため、保育所等に外付け日よけ設置	20,57
		地域へ発信！中学生サポーター事業	31
		遊んで学ぼう！熱中症予防啓発事業（すごろく）	36
		暑さと乾杯！熊之糀事業	51
		めざせ！暑さ対策研究日本一支援事業（立正大学）	52
		㈱伊藤園と、自校式の小中学校給食にミネラルむぎ茶蒸しパン提供	56
		大塚製薬㈱と「健康づくりに関する連携協定」締結	57
		ネスレ日本㈱とこまめな水分補給の呼びかけ	57
		花王㈱と「きもちいいぞ！熊谷プロジェクト」実施	58

和暦	西暦	できごと	掲載ページ
H30	2018	ひと涼みアワード2018　官民連携部門　最優秀賞を受賞	4
		籠原駅前広場冷却ミスト事業	16
		涼くまグランプリ事業	36
		トイレの中から暑さ対策事業	37
		熱中症予防声かけ事業	37
		ポータルサイト開設事業	38
		クックパッド・熊谷のページ事業	38
		市長の緊急メッセージ「熱中症から命を守ろう」（7月20日）	44
		埼玉北部ヤクルト販売㈱「熱中症予防に関する協定」により訪問販売時に声かけを実施	58
		東京ガス㈱地球温暖化防止のための食生活「エコ・クッキング」をクックパッド掲載	59
		㈱ロッテ　熱中症の応急処置等を啓発するイベント実施	59
		パナソニック㈱100周年記念フォーラムにおいて、市長が市の暑さ対策を紹介	59
		国内最高気温41.1℃観測（7月23日）	1,66
		㈱LIXILと室内熱中症予防セミナー開催	57,62
H31	2019	ひと涼みアワード2019　トップランナー賞を受賞	4
/R1		遮熱性舗装等のネットワーク化	11
		籠原駅北口駅前広場の改修	12
		熊谷駅正面口駅前広場の改修	18
		地中熱利用システム普及推進事業	23
		電気自動車充給電設備普及推進事業	24
		熱中症応急キット設置事業	39
		熱中症対策キーパー事業	39
		中学生熱中症対策事業	40
		㈱LIXILと外付け日よけの効果について実証実験を実施	57
		日清シスコ㈱　「ミネラル塩サブレ」で熱中症予防を呼びかけ	59
		東芝ライフスタイル㈱と室内熱中症啓発クリアファイル作成	60
		コールマンジャパン㈱　保育所や小中学校等に遮熱シェード等を配布	60
		バイオデータバンク㈱と熱中症の危険を知らせるリストバンドの実証実験実施	60
		㈱明治　ヨーグルトの整腸作用や体内水分保持効果等による熱中症対策を呼びかけ	60
		ダイキン工業㈱　RWC2019TMのファンゾーンに屋外型エアコン設置	61

和暦	西暦	できごと	掲載ページ
		令和元年度熱中症セミナー	62
R2	2020	ひと涼みアワード　初の殿堂入り（10月12日）	4
		ひと涼みアワード2020　熱中症ケア部門　最優秀賞を受賞	4
		遊具で遊べるんるん事業	13
		外付け日よけアシスト事業	21
		熱中症に備えるガイドブック発行事業	41
		暑さ対策マスター検定事業	41
		PR車両整備事業	42
		静岡県浜松市で41.1℃観測（8月17日）	66
		熊谷夏のおもてなし事業	42,61
		熱中症警戒アラート	44,61,66
R3	2021	ひと涼みアワード2021　熱中症ケア部門　最優秀賞を受賞	4
		すくすくはぐくまひんやりグッズ事業	17
		楽しく学ぼう！熱中症対策ドリル事業	43
		外国人のための熱中症予防啓発うちわ事業	43
		埼玉武蔵ヒートベアーズ・カバヤ食品	61
		凸版印刷・東京理科大学受託研究　実験フィールドの提供	62
		令和3年度熱中症予防ウェブセミナー	63
		暑さ対策プロジェクトチーム　令和3年度をもって活動休止	5
R4	2022	ひと涼みアワード2022　オンライン啓発部門　最優秀賞を受賞	4
		熊谷ラグササイズ動画で暑熱順化事業	43
		通学で日傘をさそう事業	17
		大塚製薬株式会社及び埼玉パナソニックワイルドナイツ三者協働事業	63
		バイオデータバンク株式会社	63
		パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社及びトラストワン株式会社	64

⑤「あっぱれ！熊谷流」事業 決算　単位：円

柱	事業名	掲載ページ	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4(予算)	合計
冷ませ	花緑いっぱい事業　※	10	6,772,620	7,320,020	6,750,579	1,450,520												22,293,739
	小学校緑化推進事業　※	14				5,361,118	2,440,966	2,727,741	2,887,024	2,650,158	2,687,153	2,423,422	3,539,374	3,254,767	2,962,140	3,014,070	3,288,000	37,235,933
	中学校緑化推進事業　※	14				2,730,704	1,106,403	1,089,953	1,182,800	1,242,830	1,157,763	1,171,255	1,810,442	1,630,216	1,452,936	1,302,223	1,552,000	17,429,525
	壁面緑化事業　※	14	1,664,292	555,185	272,328	1,868,943	1,083,842	734,226	876,527	888,048	808,039	760,775	685,432	236,313	169,575	172,258	275,000	10,603,525
	遮熱性舗装事業	8	15,711,150															15,711,150
	保育所遮熱塗装事業	19	4,914,000															4,914,000
	熱線反射・断熱フィルム施工事業	19			11,151,000													11,151,000
	低公害軽自動車導入奨励事業　※	24		10,380,000			2,175,861	2,793,644	3,757,180	3,109,700	1,728,600	1,472,182	1,556,079	1,554,619	1,381,398	1,018,655		30,927,918
天晴	熊谷駅前広場冷却ミスト事業	15	49,007,922	1,200,967	1,067,593	1,053,308	1,062,875	4,209,635	1,096,291	1,098,299	1,096,203	1,100,135	986,061	1,273,037	2,163,532	2,036,420	2,160,000	70,612,278
	うちわ祭冷却ミスト事業	15	884,205	647,850														1,532,055
	高校総体冷却ミスト事業	15	2,018,520															2,018,520
	太陽光発電等普及推進事業　※	23	10,559,000	22,000,000	25,000,000	31,136,000	35,000,000	40,265,104	40,454,139	31,015,562	26,775,173	20,390,772	24,981,347	23,512,823	23,543,729	25,714,372	25,230,000	405,578,021
	スマートハウス補助事業	25							12,500,000	29,500,000	25,000,000	25,000,000	27,500,000	16,000,000	17,500,000	11,100,000	15,000,000	179,100,000
アピール	あついぞ！熊谷事業	47	1,118,010	3,118,837	1,183,707	1,279,455	1,645,600	1,241,968	1,760,872	1,614,277	1,084,408	–	–	–	–	–	–	14,047,134
	あつべえうちわ事業	48	730,650	732,172														1,462,822
	観光振興事業(雪くま)　※	46	2,997,843	3,486,489	3,638,296	3,096,243	2,909,604	3,317,960	4,417,141	1,946,341	4,341,534	1,393,684	959,826	234,586	254,152	0	190,000	33,183,699
	FM-NACK5番組放送事業	49	3,465,000	1,794,535	998,360	1,001,028	1,002,080	1,004,776	999,800	3,002,300	1,080,000	1,080,000	1,080,000	1,082,316	1,267,300	1,100,000	1,274,000	21,231,495
	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞでＰＲ事業	50	2,992,500															2,992,500
	熊谷染日傘普及事業	49	1,000,000															1,000,000
扇げ	温暖化対策計画策定事業	22	4,325,000															4,325,000
	熊谷100年の森づくり事業	22	1,873,665			3,229,779												5,103,444
	温暖化防止活動推進センター事業	23			1,698,700	2,200,000	2,200,000	2,570,000	2,300,000	2,300,000	2,320,000	2,336,000	2,350,000	2,350,000	1,992,264	2,350,000	2,350,000	29,316,964
なるほど	見守り熱中症予防事業	28	313,536															313,536
	熱中症予防事業　※	27	34,566,000	5,376,252	5,678,314	5,402,638	5,392,300	5,637,612	12,085,495	11,368,604	11,497,411	7,193,448	4,063,211	4,704,772	4,652,668	5,636,949	6,084,000	129,339,674
	合　計		144,913,913	56,612,307	57,438,877	59,809,736	56,019,531	65,592,619	84,317,269	89,736,119	79,576,284	64,321,673	69,511,772	55,833,449	57,339,694	53,444,947	57,403,000	1,051,423,932

H30.R1の整備費は含まない。

事業名の後ろに※がついているものは、事業名が変更したり、統合したりしたもの。変更・統合前の決算は、合算して掲載

⑥暑さ対策プロジェクトチーム提案事業　決算　単位:円

	事　業　名	掲載ページ	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4(予算)	合計
1	熱中症予防グッズ配布事業	16	12,599,467	15,540,525	1,501,500	3,265,920	3,598,440	3,888,000	3,282,560	3,373,920	3,071,520	3,009,600	3,453,120	4,300,000	60,884,572
2	まちなかオアシス事業	29	594,855	1,138,746	704,614	542,894	434,354	625,989	448,079	437,944	727,670	熱中症予防事業へ統合			5,655,145
3	ＰＲ事業	30	1,807,008	1,888,730											3,695,738
4	暑さにまけるな中学生事業	31	298,011	243,138	1,287,301	409,518	387,612	393,700							3,019,280
5	涼しさ体感アート事業　※	50	1,959,913	1,900,000	1,045,800	1,019,000	1,019,000	1,001,720	968,780	965,000	927,740	913,640	999,770	1,080,000	13,800,363
6	保育所ひんやりペタペタ事業	10			6,004,425										6,004,425
7	デジタルサイネージ事業　※	32			3,956,384	425,931	429,941	427,987	429,207	430,864	437,726	436,574	424,178	391,000	7,789,792
8	スマイルdeクール時計事業　※	32			2,155,430	1,998,000									4,153,430
9	藤のパラソル事業	6				11,426,400									11,426,400
10	緑のリレー事業	25				151,200									151,200
11	みよう広げよう熱中症ゼロの輪事業	33				1,745,377									1,745,377
12	まちかどステッカー事業	33				347,760	270,648								618,408
13	えんむすび日傘事業	6					1,800,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	616,972	720,000	6,736,972
14	ちびっこ元気事業	17					3,395,412	3,124,224	2,935,440	3,411,720	3,374,784	3,065,920	3,753,080	3,000,000	26,060,580
15	ミストシャワー購入支援事業	16						3,894							3,894
16	暑さに強い子"かんげき"！事業	34						254,417							254,417
17	アロマの香りで涼しさＵＰ事業	34						162,000							162,000
18	小学校委員会活動支援事業	35						2,663,296	2,776,508	2,708,933	2,828,845	2,858,571	2,872,961	2,900,000	19,609,114
19	熊谷さくら運動公園日陰創出事業	7							9,936,000						9,936,000
20	地域へ発信！中学生サポーター事業	31							929,965	790,668	914,588	868,230	931,917	940,000	5,375,368
21	遊んで学ぼう！熱中症予防啓発事業	36							969,593						969,593
22	暑さと乾杯！熊之糀事業	51							490,186						490,186
23	めざせ！暑さ対策研究日本一支援事業	52							296,112	292,655	296,460				885,227
24	涼くまグランプリ事業　※	36								192,201	219,361	120,272	120,956	304,000	956,790
25	熱中症予防声かけ事業	37								55,673	57,333	熱中症予防事業へ統合			113,006
26	トイレの中から暑さ対策事業	37								797,040	1,458,000	888,815	熱中症予防事業へ統合		3,143,855
27	ポータルサイト開設事業	38								1,792,800					1,792,800
28	クックパッド・熊谷のページ事業	38								114,983	2,559	11,317			128,859
29	くらしのカレンダー（既存事業への盛り込み）	44								-	-	-	-	-	-

事業名の後ろに※がついているものは、事業名が変更したり、統合したりしたもの。変更・統合前の決算は、合算して掲載

⑥暑さ対策プロジェクトチーム提案事業　決算　単位:円

	事　業　名	掲載ページ	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4(予算)	合計
30	熱中症応急キット設置事業	39									441,563	熱中症予防事業へ統合			441,563
31	熱中症対策キーパー事業	39									175,377	18,370	0		193,747
32	中学生熱中症対策事業	40									2,299,050	1,488,815	1,581,684	1,600,000	6,969,549
33	遊具で遊べるんるん事業	13										523,870		310,000	833,870
34	外付け日よけアシスト事業	21										973,000	541,000	500,000	2,014,000
35	熱中症に備えるガイドブック発行事業	41										1,482,800			1,482,800
36	暑さ対策マスター検定事業	41										63,411	30,000	30,000	123,411
37	ＰＲ車両整備事業	42										2,578,695			2,578,695
38	熊谷夏のおもてなし事業	42										77,754			77,754
39	すくすくはぐくまひんやりグッズ事業	17											3,998,390	2,400,000	6,398,390
40	楽しく学ぼう！熱中症対策ドリル事業	43											2,900,000		2,900,000
41	外国人のための熱中症予防啓発うちわ事業	43											437,800		437,800
42	ラグササイズ動画で暑熱順化事業	43												466,000	466,000
43	通学で日傘をさそう事業	17												13,760,000	13,760,000
			17,259,254	20,711,139	16,655,454	21,332,000	11,335,407	13,265,227	23,886,318	16,084,401	17,952,576	20,099,654	22,661,828	18,475,000	220,014,370

事業名の後ろに※がついているものは、事業名が変更したり、統合したりしたもの。変更・統合前の決算は、合算して掲載



埼玉県　熊谷市　市長公室　政策調査課

〒360-8601　埼玉県熊谷市宮町二丁目 47 番地 1

電話：048-524-1111(内線 369)